

# 年 報

2020 年度（令和 2 年度）

No.23

長野県立歴史館



## 目次

### 概要

I	沿革	1
1	開館までの歩み	
2	開館後の歩み	
II	機能・組織・運営	8
1	機能	
2	組織と分掌	
3	運営	
4	関係法規	
III	施設	16
1	平面図	
2	諸室	

### 事業

I	令和2年度の主な事業実績	18
II	展示	19
1	常設展示	
2	企画展示等	
III	教育普及公開	36
1	学校・団体見学 実施記録	
2	企画展関連講演会等	
3	講座	
4	考古学セミナー	
5	近世史セミナー	
6	講習会	
7	各種講習会・イベント	
8	展示解説	
9	学校との連携	
10	博物館実習	
11	インターンシップ	
12	職場体験学習	
13	サークル育成活動	
14	ボランティア活動	
15	博物館関係職員等研修会	
16	職員派遣（出前講座）	

IV	共催事業等	53
V	出版	54
1	長野県立歴史館たより	
2	研究紀要	
3	その他	
VI	閲覧・情報提供	56
1	図書等資料	
2	情報提供	
VII	調査研究	57
1	調査研究の体制と内容	
2	学芸研究会	
3	時代別研究会	
VIII	資料の収集・整理・保存	59
1	資料収集の方針	
2	展示資料	
3	考古資料	
4	文献史料	
IX	広報	67
1	広告・案内	
2	記事・報道	
<b>資料</b>		
I	資料利用	73
II	閲覧利用・情報利用	73
III	利用者	73
IV	収蔵史資料数	77
日誌		78

# 一 概 要 一

## I 沿 革

### 1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63） 4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定  
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
- 1989年（平成元） 7月……懇話会が報告書を提出
- 1990年（平成2） 10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置  
11月……建設基本構想骨子決定
- 1991年（平成3） 4月……開館準備専任職員配置  
5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
- 1992年（平成4） 9月24日…起工式
- 1994年（平成6） 5月……建設工事完成  
8月……展示工事完成  
11月 3日…開館

### 2 開館後の歩み

#### 1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）  
資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

#### 1995（平成7）年度

やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）

- 7月 夏季企画展「絵図にみる信濃」  
8月 特別展示「終戦日8月15日の長野県民」  
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

#### 1996（平成8）年度

新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施

- 7月 夏季企画展「縄文人の一生」  
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃」

#### 1997年 1月 館藏品展

#### 1997（平成9）年度

9月に館燻蒸を初めて実施

- 7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会」  
8月 長野県立歴史館ホームページ開設  
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化」

#### 1998年1月 館藏品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

#### 1998（平成10）年度

古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。

- 6月 屋代木簡特別展示  
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具」  
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

#### 1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

#### 1999（平成11）年度

やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館藏品展

## 2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

- 5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀－GHQ接收刀剣の輝き－」
- 7月 夏季企画展「地下4mの縄文伝説－屋代遺跡群 愛と出会い4千年－」  
飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか
- 10月 秋季企画展「信州舞台物語－団十郎も須磨子もやってきた－」
- 11月 特別公開「六角木幢－極楽浄土への道しるべ－」（共催事業）
- 2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具－身だしなみとよそおい－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2006」（共催事業）

## 2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館藏品公開を目的にした「信州の歴史遺産I」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行者をはじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目（平成7年度）の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

- 5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代－神津猛・米山一政資料を中心に－」
- 7月 夏季企画展「幕末の信州－時代を駆けた草莽たち－」
- 9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち－信州の十五年戦争－」
- 11月 「信州の歴史遺産I－新指定長野県宝と歴史館のお宝－」
- 2007年1月 冬季展「信濃の人形－いのりと願い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2007」（共催事業）

## 2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事が出来た。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館二年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事が出来た。

- 5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見－長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから－」
- 7月 夏季展「絵地図の魅力－わたしの城下町－」
- 9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島2007－新発見考古資料速報展－」
- 10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」
- 2008年1月 冬季展「信濃の人形展」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2008」（共催事業）

## 2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何？」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産II」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習（勾玉づくり）の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

- 5月 春季展「うつわは語る－縄文から近世まで－」
- 7月 夏季企画展「大庄屋って何？－安曇郡・清水家文書の350年－」
- 9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産II－長野県宝と歴史館のお宝－」
- 2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2009」（共催事業）

## 2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰－流転と遍歴の勅化－」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜－歴史を記録した先人たち－」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う－信州弥生文化の確立－」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ — 諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’ —」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2010」(共催事業)

#### 2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」

7月 夏季展「あの世への想い — 日本人はどのように埋葬されてきたか —」

9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺 — 古代に創建された松本平の二つの寺院 —」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ — 文字のちから —」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2011」(共催事業)

#### 2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。

館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

5月 春季展「武士の家宝—かたりつがれた御家の由緒—」

7月 夏季企画展「激動を生きぬく — 信濃武士市河氏の400年 —」

9月 秋季企画展「観光地の描き方 — 浮世絵版画から観光パンフレットまで —」

12月 冬季展「郷土のお宝 — 『重文・県宝』を見よう —」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」(共催事業)

#### 2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめて一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

5月 春季企画展「長野県の満洲移民—三つの大日向をたどる—」

7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」

9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器一万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品—姫君様の婚礼道具から雛人形まで—」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「長野県の遺跡発掘2013」(共催事業)

#### 2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点をおいた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓

6月 夏季展「信州の野球史—大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球—」

9月 秋季展「刃が語る信濃」

11月 冬季展「山国の水害—戊の満水と善光寺地震—」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2014」(共催事業)

#### 2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点をおいた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」

9月 秋季展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季展「山と海の廻廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

## 2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」は、当館が収蔵する絵図地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の絵図地図についての研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県絵図地図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の絵図地図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画展「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史」

12月 冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村絵図－」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

## 2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座in千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曾地域の歴史を取り上げた。同時期に木曾が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曾馬や木曾各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曾関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曾文化の発信を図った。

冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年より74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄道の軌跡－」

9月 秋季企画展「－文化の十字路－木曾の宝」

12月 冬季展「信濃の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘2017」

## 2017(平成29)年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合い暮らしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘2017」は昨年に続き伊那（伊那文化会館）・安曇野（豊科郷土資料館）・佐久（浅間縄文ミュージアム）で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」は、平成26年度冬季展「縄文土器展～デコポコかざりのはじまり～」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ（約5,300～5,100年前）における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曾地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日（土）を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料（「きそのぐわんしょ」）の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日（2.5時間×4日）、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト（『日常生活からひもとく信州』）を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 「長野県の遺跡発掘2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生！－公文書・古文書から読みとく－」

9月 秋季企画展「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」

12月 冬季展「田中芳男－「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘2018」

## 2018(平成30)年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。

他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県の博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

「長野県の遺跡発掘2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井湧の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。

講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日～9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日～3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 「長野県の遺跡発掘2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！－水辺の出会い－」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」

## 2019(令和元)年度

開館25周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に10月26日（土）から11月10日（日）まで実施した特別企画土偶展 前期「国宝土偶」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶5箇を展示した。

入館者数は15,041名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で5回(2回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の4箇所を実施しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」はKOA株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期「国宝土偶」開催に向けて多大な支援を頂き、「国宝土偶」展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化に向けて、11月22日山梨県立考古博物館、11月23日群馬県立歴史博物館との連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第3巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

4月 「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代」

10月 特別企画土偶展 前期「国宝土偶」後期「中部高地の土偶」

2020年3月 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-

## 2020(令和2)年度

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月15日(水)から5月6日(水)、さらに延長して5月31日(日)までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については7月31日(金)まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、来館者より高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で3回(3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曾・箕輪の3箇所を実施しいずれも好評であった。

6月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10月27日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した

3月 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-

7月 夏季企画展「地酒王国 信州」

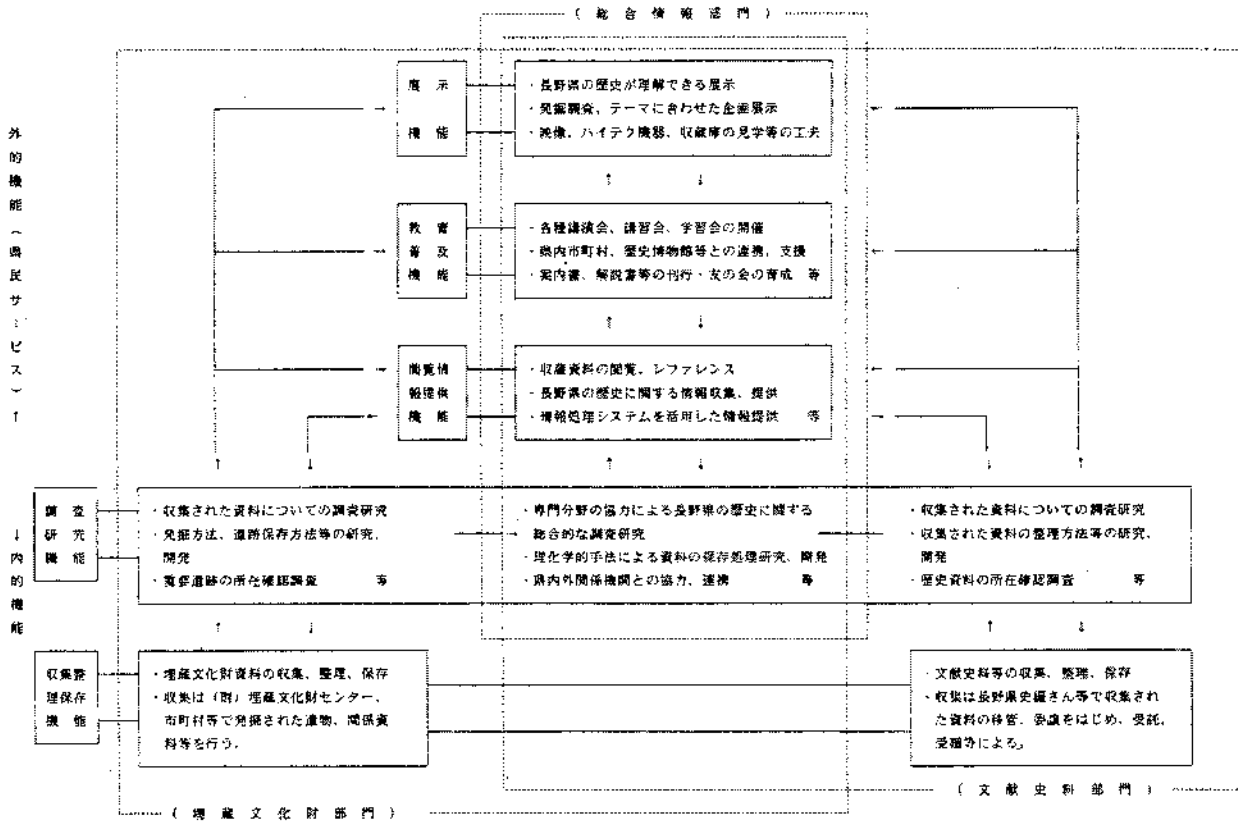
9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-

1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 -伊那谷から世界へ」

2021年3月 春季展「至宝の名品 -学芸員のイチ押し 絵画工芸編-

## II 機能・組織・運営

### 1 機能



県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）

## 建設基本構想骨子(平成2年11月建設委員会決定)

### 1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

### 2 設置場所

更埴市大字屋代字清水(森將軍塚古墳付近)

### 3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

#### (1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

#### (2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

#### (3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

#### (4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

#### (5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史料資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、受託、受贈、購入、複製収集等による。

### 4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

#### (1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

#### (2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

#### (3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

#### (4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

### 5 敷地の概要

取得面積 約19,500㎡

(用途別内訳)

建物面積	6,500㎡程度
駐車場	4,500㎡程度
外構面積	6,500㎡程度
屋外展示	2,000㎡程度

### 6 施設の概要

建築面積	6,500㎡程度
延べ床面積	10,000㎡程度

(部門別内訳)

総合情報部門	3,100㎡程度
埋蔵文化財部門	2,750㎡程度
文献史料部門	1,850㎡程度
管理部門	2,300㎡程度

### 7 建設計画

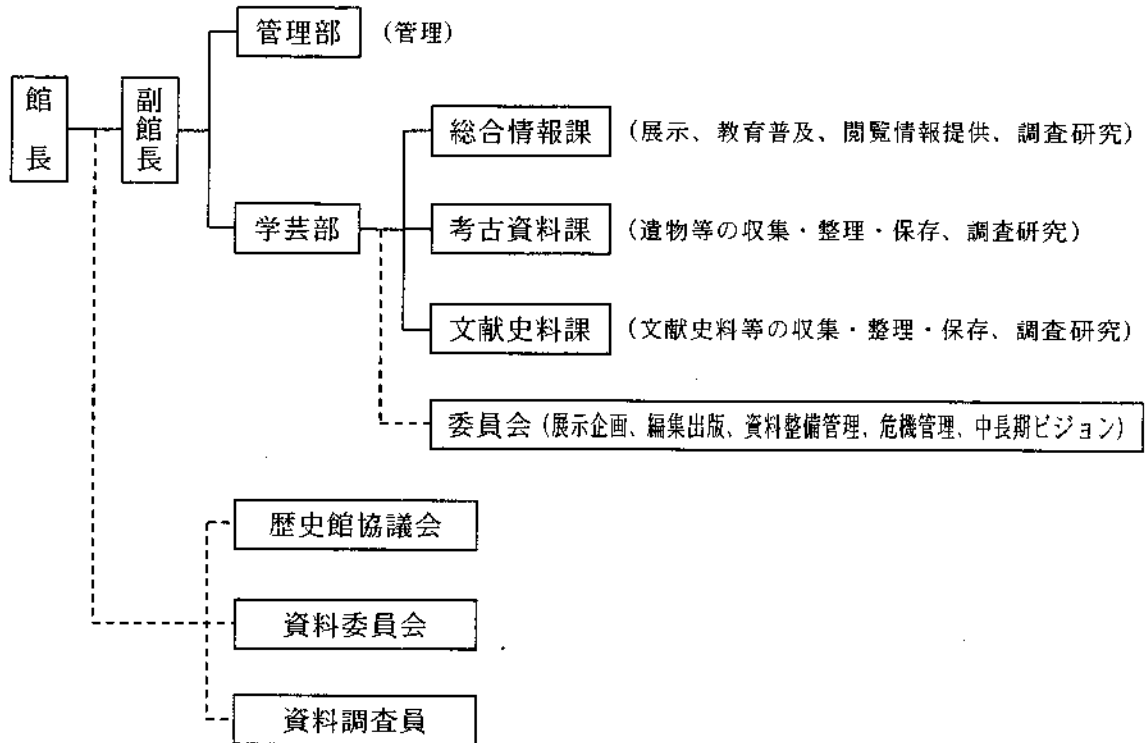
平成4年	着工
平成5年	完成
平成6年(春)	開館

### 8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

## 2 組織と分掌

○組織図（令和2年4月1日現在）



○分掌表

部 課	分 掌 事 項
管 理 部	1 庶務及び会計に関すること 2 組織及び人事に関すること 3 営繕に関すること 4 警備、清掃及び防火に関すること 5 施設、設備の保守管理に関すること
学 芸 部	総合情報課 1 歴史資料等の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講演会、講習会、研修会等）の企画及び実施並びに調整に関すること 3 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること 4 情報提供の企画及び実施に関すること 5 各種刊行物の編集及び出版並びに企画調整に関すること
	考古資料課 1 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 埋蔵文化財の研究及び科学分析・保存処理に関すること 3 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 4 情報提供の実施に関すること 5 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること
	文献史料課 1 文献史料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示、閲覧に関すること 2 教育普及（講習会、研修会等）の企画及び実施に関すること 3 情報提供の実施に関すること 4 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること

### 3 運営

#### (1) 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し、展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

#### (2) 事業概要

##### ① 重点事業

- ア 歴史館の中長期ビジョン(含む「子どものための施設」の新設)の推進
- イ 他地域博物館・県内市町村等との連携事業の推進

##### ② 史資料の収集・整理・保存

- ア 信州にまつわる史資料の収集
- イ 長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析・保存処理・整理・保存
- ウ 長野県の公文書の収集・整理・保存

##### ③ 調査研究

- ア 長野県の歴史に関する調査研究
- イ 共同研究(弥生文化、高遠藩、近世城郭・城下町、信州黒曜石文化、長野県の土偶)

##### ④ 史資料の公開・教育普及

- ア 展示の充実
  - (7) 常設展示(計画的な展示替え)
  - (1) 企画展示
    - a 春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-」(3/25~6/14)
    - b 夏季企画展「地酒王国 信州」(7/11~8/23)
    - c 秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」(9/15~11/29)
    - d 冬季展「洋画家・書家・コレクター中村不折~伊那谷から世界へ~」(1/9~2/21)
- イ 学校見学の充実(解説・バックヤード探検の実施)
- ウ 歴史関係講座の企画実施  
信州学講座、考古学講座、古文書講座、遺跡探訪会、ティーンズ古文書講座
- エ 他団体との連携
  - (7) 新潟県立歴史博物館との連携
  - (1) 信州大学との連携による研究・展示等の充実
  - (7) 連携講座(信濃史学会 長野県考古学会、信州近世史セミナー等)
  - (1) 長野県ケーブルテレビジョンとの連携による主要講座の県内への発信
  - (1) 「歴史館パートナーの日」の開催
- オ 研修会の実施(考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会等)
- カ 刊行物の発行(研究紀要、年報、史資料目録、歴史館たより等)
- キ 体験学習及びイベントの開催(歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み等)
- ク 歴史情報のマスコミへの発信(信毎コラム「しなの歴史再見」等)

##### ⑤ 閲覧・情報提供

- ア 収蔵資料の閲覧、レファレンス
- イ 歴史館ホームページを活用した情報提供
- ウ 史資料の貸し出し

##### ⑥ 学校教育等への支援

- ア 出前授業(小・中・高校等)、イ おでかけ歴史館、ウ 職場体験学習、エ 博物館実習、オ 学芸員講座、カ 教職員研修

##### ⑦ 生涯学習の支援 公民館等の講座へ講師の派遣

##### ⑧ ボランティアの募集・育成

(3) 職員名簿 (令和3年3月31日現在)

館長 笹本正治

副館長 渡島茂夫

管理部長 渡島茂夫 (兼)

学芸部長 福島良彦

<p>管理部</p> <p>担当係長 土屋勝史</p> <p>主任 小田切豊春</p> <p>主任 小林純一</p> <p>職員 手島良子</p> <p>職員 大日方恭子</p> <p>職員 丸山洋子</p> <p>職員 原田統子</p>	<p>総合情報課</p> <p>課長 中野亮一</p> <p>専門幹・学芸員 林 誠</p> <p>専門主事 畔上不二男</p> <p>専門主事 水澤教子</p> <p>専門主事 宮坂 到</p> <p>専門主事 大森昭智</p> <p>専門主事 加藤廣美</p> <p>主 事 柴田洋孝</p> <p>主 事 飯島公子</p> <p>職 員 永井沙知</p> <p>職 員 小松亜紀</p>	<p>考古資料課</p> <p>課長 町田勝則</p> <p>専門主事 近藤尚義</p> <p>専門主事 白沢勝彦</p> <p>主 事 杉木有紗</p> <p>職 員 小林伸子</p> <p>職 員 半田和廣</p> <p>職 員 徳竹正哉</p>	<p>文献史料課</p> <p>課長 小野和英</p> <p>専門主事 伊藤友久</p> <p>専門主事 村石正行</p> <p>職 員 宮下啓一</p> <p>職 員 北島祥至</p> <p>職 員 土屋英夫</p> <p>職 員 水野聖也</p> <p>職 員 荒木孝幸</p>
---	--	---	---

(注)「職員」は「会計年度任用職員」

(4) 長野県立歴史館協議会委員 (五十音順)

氏名	役職
植田平	公募
浮貝貴子	公募
久留島浩	国立歴史民俗博物館特任教授
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員
小松芳郎	信濃史学会会長
佐藤真耶	特定非営利活動法人エリアネット更埴理事
中澤英治	千曲市森將軍塚古墳館長
中村孝子	更級小学校教諭
矢島宏雄	長野県考古学会副会長
若林由美子	千曲市教育長職務代理者

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏名	担当範囲
小須田基弘	南佐久郡・佐久市
牧野和人	北佐久郡・小諸市
倉澤正幸	小県郡・上田市・東御市
高見俊樹	諏訪郡・岡谷市・諏訪市・茅野市
唐木孝雄	上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市
櫻井弘人	下伊那郡・飯田市
遠山高志	木曾郡
小松芳郎	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
伊藤信一	東筑摩郡・南安曇郡・塩尻市・松本市
小林茂喜	北安曇郡・大町市
飯島千秋	埴科郡・千曲市
田子修一	上高井郡・須坂市
寺島正友	下高井郡・中野市
西沢安彦	上水内郡・長野市
小柳義男	上水内郡・長野市
望月静雄	下水内郡・飯山市

(6) 長野県立歴史館資料委員会委員

(五十音順)

氏名	役職	分野
浅倉有子	上越教育大学教授	中世・(近世)
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東大史料編纂所准教授	中世
織田顕行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員	民俗
竹下多美	長野市立博物館学芸員	美術工芸
原田和彦	長野市立博物館学芸員	古代・中世

## 4 関係法規

### 長野県立歴史館条例 (平成6年長野県条例第24号)

#### (趣旨)

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号)及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)並びに地方自治法(昭和22年法律第67号)の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### (設置)

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)を千曲市に設置する。

#### (職員)

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

#### (協議会)

第4条 歴史館に、博物館法第20条の規定による歴史館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

#### (使用の許可)

第5条 歴史館を使用しようとする者は、長野県教育委員会の許可を受けなければならない。

#### (使用料の納付)

第6条 歴史館の展示資料を閲覧する者は、使用料を納付しなければならない。

#### (使用料の額)

第7条 前条の使用料の額は、閲覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

#### (使用料の減免)

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として閲覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

#### (管理等の委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

#### 附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成15年7月24日条例第47号)

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第37号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日条例第40号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

### 長野県立歴史館管理規則 (平成6年教育委員会規則第5号)

#### (趣旨)

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。)第9条の規定により、長野県立歴史館(以下「歴史館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

#### (休館日)

第2条 歴史館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、長野県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、火曜日)

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

#### (開館時間)

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

#### (歴史館協議会)

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

#### (使用の許可等)

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を閲覧する場合にあっては長野県立歴史館閲覧申込書(様式第1号)を教育委員会に提出し、展示資料を閲覧する場合にあってはその旨を教育委員会に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は閲覧券(様式第2号)を交付するものとする。

#### (閲覧の制限)

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次の各号に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと思われられるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について教育委員会が定める事項

(入館の制限等)

第8条 教育委員会は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 教育委員会は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく教育委員会に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

## 長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例(平成6年条例第24号)第4条及び長野県立歴史館管理規則(平成6年教育委員会規則第5号)第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会(以下「協議会」という。)の運営に必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

(委任)

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料委員会設置要綱

### (設置)

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (協議事項)

第2条 委員会は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

### (委員)

第3条 委員会の委員（以下「委員」という。）の定数は、7名以内とする。

- 委員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。
- 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 館長は、収集しようとする歴史資料について、委員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に委員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する委員会開催日までとする。

### (会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 会長は会務を総理し、委員会を代表する。

### (会議)

第5条 委員会の会議は、館長が招集する。

- 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。
- 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、歴史館において処理する。

### 附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

## 長野県立歴史館資料調査員設置要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

### (委嘱)

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

- 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。
- 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

### (任期)

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

### (員数及び調査区域)

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

### (調査対象)

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史資料とする。

### (調査方法及び報告)

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

### (守秘義務等)

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしてはならない。

### (会議) っつゆ

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

### Ⅲ 施設

敷地面積 19,593 m<sup>2</sup>  
 建築面積 6,702 m<sup>2</sup> (延床面積 10,457 m<sup>2</sup>)  
 鉄筋コンクリート造、地上2階

#### 管理部門

事務室、会議室、エントランスホール等

#### 総合情報部門

常設展示室 (1,278 m<sup>2</sup>)、企画展示室 (292 m<sup>2</sup>)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m<sup>2</sup>)、第二研修室 (148 m<sup>2</sup>)、閲覧室 (159 m<sup>2</sup>)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

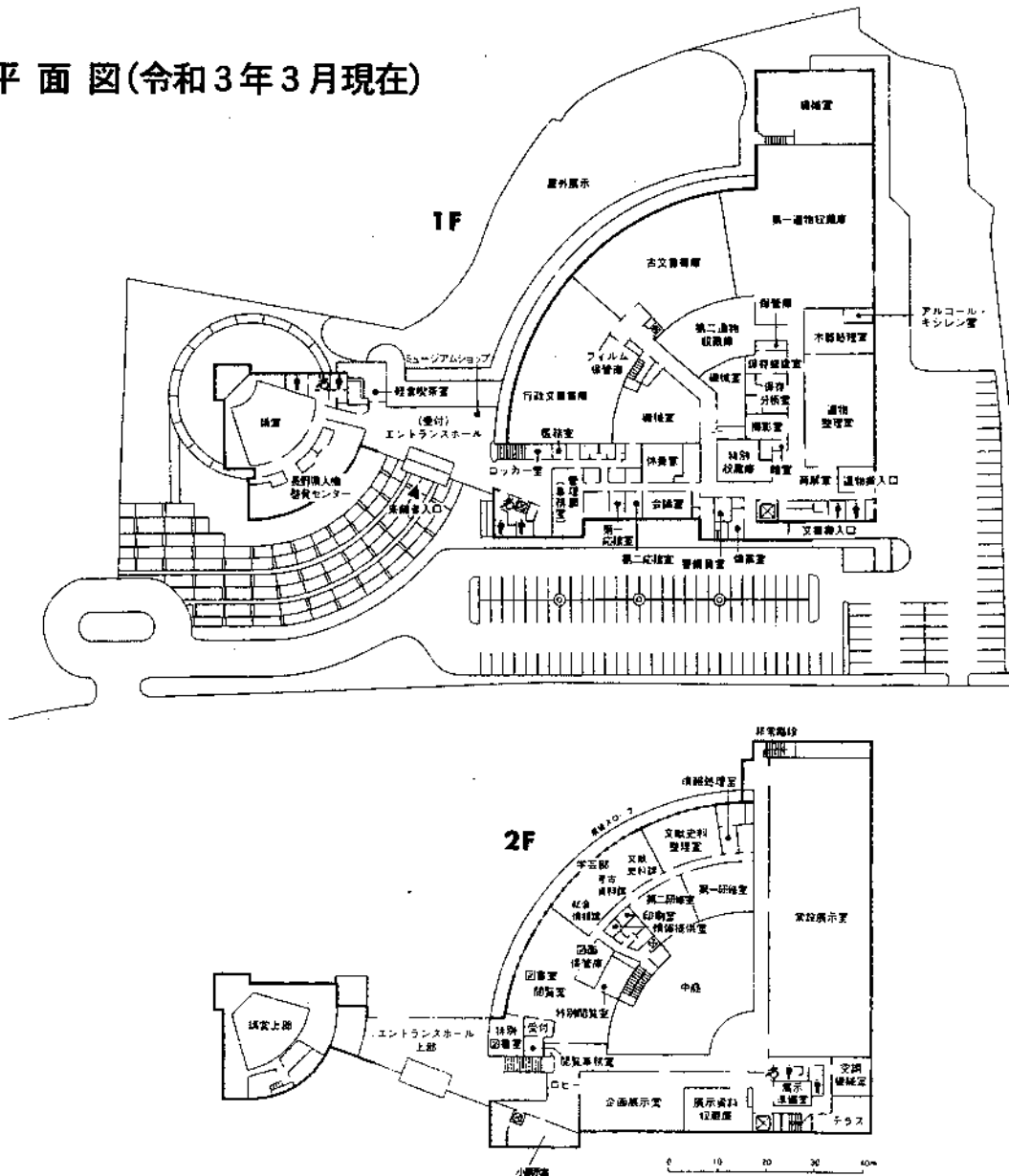
#### 考古資料部門

遺物整理室 (348 m<sup>2</sup>)、第一遺物収蔵庫 (982 m<sup>2</sup>)、第二遺物収蔵庫 (215 m<sup>2</sup>)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

#### 文献史料部門

文献史料整理室 (145 m<sup>2</sup>)、行政文書書庫 (592 m<sup>2</sup>)、古文書書庫 (583 m<sup>2</sup>)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

### 1 平面図(令和3年3月現在)



## 2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 部	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
	部 門	講堂	225	
撮影・現像室		55	資史料撮影、現像	
遺物整理室		348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
保存分析室		45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
木器処理室		97	出土木器の保存処理	
休養室		37	整理作業員等の休憩、昼食	
保存修復室		39	遺物の修復	
X線分析室		13	遺物の分析	
蛍光X線分析室		12	遺物の分析	
アルコールキシレン室		19	遺物の保存処理	
第一遺物収蔵庫		982	出土土器・石器類の収蔵	
第二遺物収蔵庫		215	出土木器の収蔵	
特別収蔵庫		71	重要な資史料の収蔵	
行政文書書庫		592	行政文書・行政資料の保管	
古文書書庫		583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
フィルム保管庫		42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
燻蒸室		19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431		
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

# 一 事業

## I 令和2年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考	
自 主	常設展	年間(262日)	21,764		
	春季展「長野県の考古学-いのちをつなぐ技と交流-」	4月1日～ 6月14日	642		
	夏季企画展「地酒王国 信州」	7月11日～ 8月23日	2,646		
	秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」	9月15日～ 11月29日	9,519		
	冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ—」	1月9日～ 2月21日	2,432		
	春季展「至宝の名品 -学芸員のイチ押し 絵画工芸編-」	3月13日～ (3月31日)	888		
事 業	講演会・講座・講習会等	企画展関連講演会等(年4回)	8月～2月	290	
	県立歴史館の信州学講座 3回実施(3回中止)	4月～3月	141		
	県立歴史館の信州学出前講座in飯田・箕輪・木曾	8月～11月	66		
	考古学講座 2回実施(2回中止)	10月・1月	81		
	出前講座(年27回)	4月～3月	846		
	お出かけ歴史館(小学校5校、公民館1館)	10月～2月	206		
	各種講習会・イベント	4月～2月	758		
その他	史資料等の閲覧	年間(262日)	2,523		
共 催 事 業 等	講演会・講習会等	近世史セミナー	12月	33	信濃史学会
	長野県史料保存活用連絡協議会講習会(年2回)	10月・1月	63	県史料協	
	古文書愛好会総会講演会	2月	24	古文書 愛好会	
	教員免許状更新講習	11月	19	信州大学	
	信州大学学芸員資格取得講座(博物館経営論)	2月	7	信州大学	
	博物館関係職員等研修会	2月	56	県博協	
	「掘るしん2021」長野県埋蔵文化財センター速報展	3月13日～ (3月31日)	774	県埋蔵文化 財センター	
計			43,778		

## II 展 示

### 1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとのくらし」

#### (I) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて示し、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

#### ① 常設展示を構成する柱

##### ・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

##### ・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

##### ・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学

際的、総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく考えられるものとする。

#### ② 常設展示の方法

・常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

#### ③ 常設展示の内容

##### ・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

##### ・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、テーマに沿って展示し、より深い学習ができるようにする。

##### ・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

## (2) 構成

### 木曾ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和2年4月～令和3年3月	ヒノキ立林、植生
	令和2年4月～令和3年3月	木曾ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

### **原始** 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

#### 中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代(旧石器時代)の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和2年4月～令和3年3月	ナウマンゾウ模型(実物大環境復原)、ナウマンゾウ第1臼歯模型 他
最初に住んだ人びと	令和2年4月～令和3年3月	竹佐中原遺跡・日向林B遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和2年4月～令和3年3月	神子柴遺跡、矢出川遺跡石器 他

#### 中テーマ 中央高地の縄文文化

1万5,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。5,300～4,500年前の縄文中期、信州は日本一の人口密集地の一つとなった。本年度前半は中期中葉を中心とし、後半は中期後葉を中心に、生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和2年4月～令和3年3月	隆起線文土器、早期の尖底土器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具(複製) 他
定住のはじまり	令和2年4月～令和3年3月	阿久遺跡土器、石器、装身具 他
華やかな土器文化と生業	令和2年4月～令和3年3月	上木戸遺跡の土器・垂飾品、郷土遺跡の土器・土偶、屋代遺跡群の動物・魚骨、土器・石器 他
寒冷化する環境の中で	令和2年4月～令和3年3月	国宝土偶「仮面の女神」(複製)、

		北村遺跡土器・石器 他
縄文のムラ（環境復原）	令和2年4月～令和3年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽・動物 他

### 中テーマ 稲をつくった信濃人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和2年4月～令和3年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・石器、森平遺跡石器、人面付土器、銅鐸（レプリカ）他
土偶の変容	令和2年4月～令和3年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土器、篠ノ井遺跡群人面付土器他

### 中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。かれらの方は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和2年4月～令和3年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和2年4月～令和3年3月	陣馬塚古墳大刀、松原遺跡馬具・勾玉 他
朝鮮半島からの文化	令和2年4月～令和3年3月	天冠、帯金具 他

## 古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

### 中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和2年4月～令和3年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和2年4月～令和3年3月	木製農具（鍬、鋤、杵、槌、えぶり）

条里水田	令和2年4月～令和3年3月	条里区画変遷模型
------	---------------	----------

### 中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
屋代木簡の世界	令和2年4月～9月	屋代遺跡群15・46・73・74・90・114号木簡（複製）、温硯、高坏形円面硯、刀子柄、藤原宮木簡（複製）、平城京木簡（複製）、長岡京木簡（複製）、屋代遺跡群6区模型
古代の布	令和2年10月～令和3年3月	信濃国印（模造）、屋代遺跡群10号木簡、紡錘車、苧引金具、苧舟、杼、布巻具、正倉院白布（模造）、布袴（模造）

### 中テーマ 平安時代の村のくらし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	令和2年4月～令和3年3月	須恵器大甕、銅印（複製）、円面硯、帯金具、墨書土器、緑釉椀・緑釉皿・土師器皿・八稜鏡（重要文化財）、貞観寺田地目録（複製）、瓦塔、埴仏

## 中世 信濃武士と百姓のくらし

### 中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
木曾義仲と荘園	令和2年4月～8月	平家物語図屏風、木曾義仲合戦図屏風、源平合戦図屏風、源頼朝下文（

		複製)、木曾義仲下文(複製)
合戦図と武士の世界	令和2年9月～令和3年2月	武田信玄画像、八幡太郎図、川中島合戦図屏風(複製)、軍扇、川中島合戦之図
一所懸命	令和3年2月～令和3年3月	市河頼房軍忠状(複製)、斯波義将感状(複製)、二宮氏泰奉書(複製)、二宮氏泰宛行書(複製)

### 中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和2年4月～令和3年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵(複製)、一遍上人絵詞伝(複製)
鎌倉時代の善光寺門前 (実物大環境復原)	令和2年4月～令和3年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

### 中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとり入れた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
東アジアと信濃	令和2年4月～8月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図
銭を使う人びと	令和2年9月～令和3年2月	薄葉景光太田荘神代郷代官職請文、市川盛房置文、宋銭・明銭、常滑焼
太刀と刀	令和3年2月～令和3年3月	太刀(銘不明)、刀(銘信舎)

## 近世 江戸時代の町と村の暮らし

### 中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
大庄屋の仕事と暮らし	令和2年4月1日～7月15日	戸田家紋散大盃、螺鈿卓、梨子地紋散卓、火事装束、松川旗
城と城下町	令和2年7月15日～9月7日	諸国名産図屏風（右隻、左隻）
農耕図の世界	令和2年9月7日～10月28日	四季農耕図屏風（秋、其残）
城と城下町（松代藩）	令和2年10月28日～令和3年2月25日	松代藩主画像、松城城下町絵図、雨宮家資料（琵琶、鐙、菜箱）、雨宮家文書（藩医任命書ほか）
城と城下町（雑）	令和3年2月25日～3月31日	古今雑、五人囃子、御所人形、松本押絵
正保信濃国絵図	令和2年4月～令和3年3月	正保の信濃国絵図（複製）、年貢皆済目録（複製）

### 中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	令和2年4月～令和3年3月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	令和2年4月～令和3年3月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

### 中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	令和2年4月～令和3年3月	ランドサット図
信州中馬	令和2年4月～令和3年3月	中馬装束模型、映像「信州中馬」

街道の風景	令和2年4月～6月 令和2年9月～令和3年2月	信州松本通見取絵図控（小諸町、矢代宿ほか）、中山道長窪宿高札、葉屋看板、関札、矢代宿町割図、旅装束（旅合羽、笠、草鞋） 馬頭観世音、道祖神
職人の世界	令和2年7月～8月	職人尽図、鍾馗図、達磨図
千曲川通船	令和3年3月	千曲川通船川沿絵図、千曲川通船許可書、信州千曲川通大瀧筋難場堀割并岩石等取固片付通船路目論見積、覚（積荷改め）

### 中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達し、生活が豊かになっていった。本を購入し、本から学ぶことも増えた。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
豪農の世界	令和2年4月～6月	婚礼の祝い膳（復原）、婚礼の献立文書（複製）
近世の学問	令和2年4月～6月	伝佐久間象山使用短銃、伝佐久間象山電気治療器、茶運び人形
信濃の酒造り	令和2年7月～8月	酒造道具（だき樽、半切り桶、かき、麴蓋、桃桶など）、通徳利
書肆と村びとの蔵書	令和2年9月～令和3年2月	書物値段付覚、経典余師、本箱、諏訪八勝詩版木、諸国道中商人鑑、康熙字典、万日記
中山道の明治維新	令和3年3月	和宮行列図 複製、和宮様御下向二付宿内御宿帳、和宮様御下向惣御人数帳
祭りの人形芝居	令和3年3月	黒田人形 時姫
一揆と世直し	令和3年3月	一揆記録書（傘連判状）複製、いでたち人形

## 近現代 世界につながる県民の暮らし

### 中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	令和2年4月～令和3年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、筑摩県印鑑簿、筑摩県博覧会錦絵
お蚕さま	令和2年4月～令和3年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、蚕玉様の押絵
世界につながる蚕糸業	令和2年4月～令和3年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、シルクラベル
近代の製糸工場	令和2年4月～令和3年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、工女募集告諭書、横浜開港之図、操糸鍋
工女の生活	令和2年4月～令和3年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場(実物大環境復原)	令和2年4月～令和3年3月	ボイラー、水車、繰糸器

### 中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	令和2年4月～令和3年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤(五つ玉)、農民美術作品、織物標本
おもちゃ(トピックス)	令和2年4月～令和3年3月	出世双六、キューピー人形、たこ、戦争おもちゃ
戦前の観光信州	令和2年4月～令和3年3月	鳥瞰図『長野県の温泉と名勝』・『長野電鉄沿線温泉名所案内』

		観光パンフレット資料
--	--	------------

### 中テーマ 昭和恐慌と満州移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃をうけた。そこから抜け出すため県は満州（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様ざまな戦争体験	令和2年4月～令和3年3月	『満洲更科郷のスケッチ』、『拓け満蒙』、『終戦の記』、『のらくろ』、満州物産図、桔梗ヶ原女子拓務訓練所要覧

### 中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	令和2年4月～令和3年3月	球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン（シンガー製、ブラザー製）、木製冷蔵庫、電気冷蔵庫、ナショナルホームラジオ、ナショナル電気こたつ、4号電話機、カメラ、腕時計、1970年代雑誌創刊号、長野県の平成史パネル

### マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

リース契約を更新し稼働状況を定期的に確認。ただし、コロナ禍の影響で配信は中止した。

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐

	木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち		
中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	令和2年4月～令和3年3月	植栽
5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アケ（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡 石棺墓の石組み
万葉の野	令和2年4月～令和3年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	令和2年4月～令和3年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。		五輪塔群

### (3) 新規小テーマ

本年度は新規小テーマなし

## 2 企画展示等

### ●夏季企画展

「地酒王国 信州」

令和2年(2020年)7月11日(土)～8月23日(日) 44(開館38)日間

入館者総数 2,646人

主催 長野県立歴史館

後援 関東信越国税局、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

協力 長野県酒造協同組合、県内各酒造店、東京農業大学「食と農」の博物館、長野県産業労働部産業技術課日本酒・ワイン振興室、長野県工業技術総合センター、長野県農業試験場

### 〈展示趣旨〉

米作りをしてきた日本人にとって、米を原料とする酒(日本酒)は、現代でも神事や冠婚葬祭、日常生活に欠かせないものであり、各地の酒蔵で酒造りが行われてきた。

現在、長野県には80の酒蔵があり、これは新潟県の89に次いで国内第2位の数である。酒蔵は県内各地にあり、自然を活かした個性あふれる酒が造られ、幾多の試練を乗り越えて今の「地酒王国」に至っている。この地酒王国信州はどのように誕生したのか。①酒蔵が数多く誕生した米社会の江戸時代、②明治から続く幾多の試練、③研修を積んで銘醸地入り、④販売によって名を広め、現代日本を個性化で生き抜く酒蔵、この4章に序章・終章を加え、地酒王国を語りたい。ここから信州の酒の歴史、地域性や多様性、酒造家の知恵や高い技術、日本

の食文化の一端が見えてくる。

関連展として、発酵・長寿県宣言をした長野県の発酵食や発酵について示し、日本人の食生活や知恵等を紹介する機会とする。また、長野県の酒造経営者や杜氏の約半数は東京農業大学醸造学科出身で、現在の地酒王国発展を担っているが、その大学(「食と農」の博物館)の資料を紹介する。

### 〈展示構成〉

序章 地酒と生活

①「地酒王国」

②酒と生活

③酒と子ども

第1章 信州各地に酒蔵誕生

①江戸時代の酒蔵

②米社会と酒造り

③街道と酒

④酒蔵と文化人

第2章 近・現代の試練

①酒蔵数の推移酒蔵の乱立

②幾多の試練

酒蔵の乱立、酒税、県外酒の大量流入、原料米の不足、腐造、工業化への対応、不況・恐慌、戦時体制、戦後の混乱、戦後の自由競争

第3章 研修を積んで銘醸地入り

①県の取り組み

②組合の結成と研修

③県内酒造業の発展

④相次ぐ受賞

⑤杜氏・蔵人

第4章 名を広め、地酒王国へ

①東京へ売り込め

②PR時代

③個性化した酒造り

④海外へ販売・出品・PR

終章 地酒王国を生んだ風土

①酒造りに適した自然

②水質豊かな水

③長野県産の酒米

関連展

①《第2展示室》

長野県と東京農業大学

「食と農」の博物館紹介

②《第2展示室、通路》

発酵長寿県宣言した長野県  
発酵について

③《通路》

酒蔵等のポスター展

〈主な展示資料〉

- ・全蔵元の酒瓶、酒蔵地図
- ・通徳利
- ・徳利、猪口、枡
- ・田中平八雛人形の白酒
- ・男蝶女蝶の酒器
- ・古文書（酒屋の記録）
- ・寛永年間の酒瓶
- ・チラシ「歳徳神酒 菊の泉」
- ・小諸藩主からの拝領酒器
- ・酒屋の絵
- ・諸国道中商人鑑
- ・四季生活図会
- ・藤田嗣治「秋月帰山」「木曾山畑より」
- ・菊池契月「春深」
- ・佐竹永湖「酒造りの図」
- ・酒造鑑札
- ・野田屋の団扇
- ・各種ポスター（酒、ビール）
- ・等級ラベル、規格証紙
- ・1級酒、2級酒、特級酒
- ・昭和初期の酒造写真
- ・酒造講習講義録
- ・大正14年佐久酒造組合記念写真
- ・清酒番付
- ・酒造写真
- ・受賞品（旗、賞状）
- ・「金紋信州」
- ・「蔵元信州」「信州酒店」等写真
- ・PRポスター、週刊誌
- ・特色ある酒  
（雪中酒、湖中酒、花酵母ほか）
- ・海外販売資料
- ・酒米の標本
- ・水神旗
- ・東京農業大学主催の全国酒類調味食品品  
評会受賞楯

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

7/10 金 15:30～15:50 展示室前  
出席者 太田寛副知事、来賓（薄井朋介  
長野県酒造組合長）、報道関係者

(2) 講演会

8/22 土 13:30～15:00 講堂

「地酒王国信州の酒造りと酒文化」

講師 相沢節子

参加者数 63人（定員80人、申込制）

(3) トークセッション

8/8 土 13:30～15:00 講堂

テーマ 「信州の酒文化と歴史・雑学」

コーディネーター 笹本正治（当館館長）

パネラー ①薄井智哥子（大雪溪社長）

②若林真実（若林醸造杜氏）

③由井詩織（県酒造組合PR大使）

④畔上不二男（当館専門主事）

参加者数 80人（定員80人、申込制）

(4) 発酵の学校

8/2 土

講師は県工業技術総合センター職員2人

・発酵の教室（10:00～、11:00～、13:00  
～、14:00～各30分 第一研修室）

臭いによる発酵クイズ、菌の観察

参加者数 36人（各回親子5組＝10  
人、申込制）

・発酵のおはなし会（13:30～14:00 講堂）

参加者数 27人（定員80人、申込制）

(5) 地酒プレゼント

酒蔵から提供された地酒20本について、  
企画展入場者の1番および100番ごとに  
1本プレゼント

〈印刷物〉

ポスター B2判 片面カラー2,100枚

チラシ A4判 両面カラー24,000枚

招待券 カラー 4,000枚

図録 A4判 カラー88頁1,100部

〈担当者〉

総合情報課 畔上不二男、加藤廣美、  
大森昭智

●秋季企画展

「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」

令和2年9月15日（火）～11月29日（日）

（開催日数：65日間）

観覧者数 9,519名（企画展示室観覧者数）

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、  
読売新聞長野支局、毎日新聞長野支  
局、産経新聞長野支局、中日新聞社、  
長野市民新聞社、市民タイムス、市  
民新聞グループ（7紙）、長野日報社  
南信州新聞社、NHK長野放送局、S  
BC信越放送、NBS長野放送、TSB  
テレビ信州、abn長野朝日放送、（一  
社）長野県ケーブルテレビ協議会、FM  
長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電  
話農業協同組合、（公財）八十二文化財  
団

#### 〈展示趣旨〉

約3000年前に日本列島に稲作が伝播し、  
農耕社会が成立しました。稲作を中心と  
する生活文化の体系は、その後の日本を  
支える基層文化になりました。金属器の  
使用、階級の発生、クニの誕生なども農  
耕社会の特質として挙げることができ  
ます。「クニ」のまともりは、大陸や半  
島との接触が多い北部九州でいち早く  
進んだとみられます。一方信州では稲作  
農業を通じて共同体は連携し、村落が大  
きく成熟していったと考えられます。東  
アジア世界の一員として倭国が成長す  
る中、日本列島の南端の北部九州と中央  
部に位置する信州、まったく異なる条件  
のもとに歩んだ地域を対比することで、  
あらためて日本列島の稲作農耕文化、  
「倭国」とは何か再考してみます。

#### 〈展示構成〉

プロローグ 弥生時代の幕開け

I部 稲作の発達と地域のまともり  
in 信州

- (1) 第2のメツセンジャー
- (2) 稲作文化の開花

(3) 紀元前後の変動

(4) 「赤い土器のクニ」誕生

II部 魏志倭人伝の国々

(新型コロナウイルス感染予防のためパネル  
展示に変更)

(1) 早良平野 最古の王墓誕生

(2) 福岡平野 奴国の誕生

(3) 糸島平野 伊都国の誕生

(4) 遠賀川流域 嘉穂地域の国誕生

(5) 吉野ヶ里遺跡の世界

エピローグ

(1) 東アジア世界の一員、倭人伝の「国」  
誕生

〈主な展示資料〉

重要文化財：柳沢遺跡出土品（銅戈・銅  
鐸・壺形土器・管玉）

県宝：根塚遺跡出土品（鉄剣・勾玉・管  
玉・ガラス小玉・砥石）

その他：中野市南大原遺跡、長野市檀  
田遺跡、松本市境窪遺跡、喬  
木村阿島五反田遺跡、飯田市  
丹保遺跡など

パネル：福岡市三雲南小路遺跡、飯塚市  
立岩遺跡、春日市須玖岡本遺  
跡、佐賀県吉野ヶ里遺跡など

以上、320点

〈行事〉

(1) シンポジウム

「集落間の連携と「クニ」の誕生を考える」

11月22日（日） 13:30～15:00

参加者 80名

コーディネーター：

石川日出志先生（明治大学教授）

パネラー：馬場伸一郎（長野県埋蔵文化  
財センター）、柳生俊樹（中野  
市教育委員会）、土屋和章（安

曇野市教育委員会)、春日宇光  
(飯田市教育委員会)

(2) 弥生文化研究会

第1回 諏訪地区 9月18日(金)

テーマ:「信州における稲作の始動と定着」

参加者:栗田愛(岡谷市美術考古博物館)  
児玉利一(諏訪市博物館)、森下春  
(辰野町教育委員会)、松森多恵  
(原村教育委員会主任)、堀川洗太  
郎(茅野市教育委員会主事)

第2回 上田小県地区 10月6日(火)

テーマ:「弥生後期の食料生産と社会」

参加者:尾身智志(上田市信濃国分寺資料  
館長)、太田光春(長和町教育委員  
会)、本間美麻(坂城町教育委員  
会)、寺島孝典(千曲市歴史文化財  
センター)

第3回 北信地区 10月8日(木)

テーマ:「弥生墓制と階級の発生」

参加者:室 正一(木島平村教育委員会)、  
丑山直美(飯山市教育委員会)、  
篠原しずか(高山村教育委員会)、  
柳生俊樹(中野市教育委員会)、  
福井優希(いづな歴史ふれあい  
館)、土屋真由(須坂市教育委員  
会)、大井久幸 清水竜太 伊藤  
愛(長野市埋蔵文化財センター)

第4回 松本地区 10月22日(木)

テーマ:「信州中部の弥生文化を考える」

参加者:牧野 令(塩尻市平出博物館)、  
村田幸子(山形村教育委員会)、  
土屋和章 横山幸子(安曇野市  
教育委員会)、丸山真由美(朝日  
村教育委員会)、平林大樹(千曲  
市教育委員会)

第5回 伊那谷 11月5日(木)

テーマ:「伊那谷の弥生文化を考える」

参加者:中里信之(阿智村教育委員会)  
氣賀澤愛香(飯島町教育委員会)  
春日宇光(飯田市教育委員会)  
関本景香(大町市教育委員会)  
松澤邦武(喬木村教育委員会)  
芦辺公一(高森町歴史民俗資料館)  
高島佳奈(高森町教育委員会)  
森田勝二(豊丘村教育委員会)  
松下直央(松川町教育委員会)  
千 泰山(南箕輪村教育委員会)  
井澤はずき(箕輪町教育委員会)

第6回 東信地区 11月12日(木)

テーマ:「鉄器の流通と佐久平の弥生社会」

参加者:長崎 治(川上村教育委員会)  
藤森英二(北相木村教育委員会)  
望月博史(小諸市教育委員会)  
久保浩一郎(佐久市教育委員会)  
宮川朋樹(佐久穂町教育委員会)  
山田あづさ(軽井沢町教育委員  
会)

〈印刷物〉

ポスター B2判 表カラー 2,100部  
チラシ A4判 両面カラー 28,000部  
図録 A4判カラー224頁 1,200部

〈担当〉

考古資料課 町田勝則 杉木有紗  
総合情報課 柴田洋孝 飯島公子

●冬季展

「洋画家・書家・コレクター 中村不折—伊  
那谷から世界へ」

令和3年1月9日(土)~2月21日(日)

(開館日数36日間)

観覧者数2,432名

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、中日新聞社、産経新聞長野支局、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野市民新聞社、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業共同組合、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、(公財)八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

当館では、平成29年度より冬季の企画として、長野県ゆかりの人物に焦点を当てた展覧会を開催してきたが、今年度は、伊那市ゆかりの洋画家中村不折(なかむらふせつ、1866~1943)の世界を紹介した。

不折は、幕末の江戸に生まれ、現在の伊那市で育った。明治21年(1888)上京して画塾「不同舎」で小山正太郎らに師事した後、明治34年(1901)には独力でフランス留学を果たし、西洋美術の本場で人物画を学んだ。

不折の創作は幅広く、中国や日本の歴史に取材した油彩画を得意とした他、新聞挿絵やブックデザインでも先駆的業績を残した。また、書家としても「六朝風」とよばれる独特の書体で人気を博した一方、書道資料の蒐集(=収集)にも力を入れ、晩年にはそれら資料を収蔵公開する「財団法人書道博物館」を創設した。

本展では、多分野にわたり活躍した不折の足跡を、厳選した作品・資料によってたどり、加えて、書道史上の至宝ともいえる不折コレクションの一部を、北信では初めて展観した。

#### 〈展示構成〉

- はじめに 戦災資料から
- I 中村不折の原点 一幕末明治初期の江戸と高遠
  - II 東京へ
    - 1 風景画「道路山水」と初期油彩画
    - 2 不折と子規 新聞挿絵の先駆者
    - 3 日清戦争従軍 漢字の故郷中国へ
    - 4 装幀と挿絵
  - III パリへ 一どこまでも独力で
    - 1 人体デッサンとの闘い
    - 2 油彩画の基礎と「歴史画」を学ぶ
  - IV 歴史画 一洋画家・不折の到達点
  - V 書 一人気を博した独自の「六朝風」
  - VI 中村不折コレクション
    - 1 中国 一甲骨文から楷書の完成まで
    - 2 日本 一有名人の墨跡

#### 〈主な展示資料〉

- 戦災資料(懐中時計 朱文方印「環山」)  
白鳥拙庵筆 草書千字文  
真壁雲郷筆 山水図  
中村不折作 池袋村他(道路山水)  
中村不折作 正岡子規像  
『小日本』より 水戸弘道館、向島三圍社  
頭桜花爛漫の景  
『参考画輯一』『参考画輯五』  
「従軍免許之証」  
中村不折作 『遼左画稿乙集』  
島崎藤村『若菜集』『一葉舟』『落梅集』  
中村不折作 裸体習作(木炭)  
中村不折作 裸体習作(油彩)  
『歐行画報 地 玄 黄』  
解剖学講座受講証  
中村不折作 卞和璞を抱いて泣く  
中村不折作 龍眠帖  
中村不折作 養老孝子

隸書李白五言律詩「戲贈鄭溧陽」

甲骨文

呂仲僕爵

虢叔旅鐘

銅戈

熹平石經殘石

張遷碑

鄭義下碑（出土初拓）

『律藏初分』卷第十四

「齊郡王祐造像記」「比丘法生造像記」

織田信長筆 沢与助宛朱印状

佐久間象山筆 隸書七言絶句軸

『良寛書卷』

『子規居士尺牘・上』

『漱石居士書翰・下』

など

以上 72 点

#### 〈行事〉

(1) 講演会 (1/23 土 13:30~15:00)

内容 「中村不折の書画とコレクション  
～書道博物館所蔵品展から～」

講師 台東区立書道博物館主任研究員  
鍋島稲子氏

→新型コロナウイルス感染症拡大防止の  
ため中止

(2) 講座 (2/6 土 13:30~15:00)

参加者 67 名

内容 「画家・中村不折の生涯と芸術」

講師 当館 学芸員 林 誠

(3) その他

ギャラリートーク（計 3 回）及び体験イ  
ベント

→新型コロナウイルス感染症拡大防止の  
ため中止

#### 〈印刷物〉

ポスター B2 判 表カラー 2,100 部

チラシ A4 判 両面カラー 28,000 部

図録 B5 判カラー 88 頁 1,000 部

〈担当〉

総合情報課 林誠、加藤廣美、宮坂到

#### ● 春季展 2020 年「長野県の考古学—い のちをつなぐ技と交流—」

令和 2 年（2020 年）3 月 25 日（水）

～6 月 14 日（日）〔4 月 15 日（水）

～5 月 31 日（日）新型コロナウイルス  
感染症拡大防止のため臨時休館）

（開催日数 30 日間）

入場者数 882 人

主催 長野県立歴史館

共催 長野県埋蔵文化財センター

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総  
局・読売新聞長野支局・毎日新聞長  
野支局・産経新聞長野支局・中日新  
聞社・長野市民新聞社・市民タイム  
ス・市民新聞グループ（7 紙）・長  
野日報社・南信州新聞社・NHK 長野  
放送局・SBC 信越放送・NBS 長野放  
送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日  
放送・（一社）長野県ケーブルテレ  
ビ協議会・FM 長野・FM ぜんこうじ・  
屋代有線放送電話農業協同組合・  
（公財）八十二文化財団

#### 〈展示趣旨〉

縄文から弥生へ—時代の変わり目で  
もある縄文時代後・晩期（約 4,500～  
2,500 年前）。長野県では生業活動の  
変動を語る石器や加工施設、広域な情  
報網があったことを示す土器や装身具  
が発見されています。環境変化などの  
影響が生じていた時代のなか、人びと

が食料獲得・加工の技を向上させ、他地域との結びつきを深めていった姿を、考古資料から探り展示しました。さらに、令和元年(2019年)の「長野県の考古学」展に引き続き、平成30年(2018年)に長野県宝に指定された「信州の特色ある縄文土器」、長野県埋蔵文化財センターの最新の成果を紹介しました。

#### 〈展示した主な遺跡〉

- 1 いのちをつなぐ技と交流  
栗林遺跡(中野市)、北村遺跡(安曇野市)、宮崎遺跡(長野市)、エリ穴遺跡(松本市)、中村中平遺跡(飯田市)、一津遺跡(大町市)、水遺跡(小諸市)、中島A遺跡(岡谷市)ほか
- 2 長野県埋蔵文化財センター調査遺跡  
沢尻東原遺跡(辰野町)、南大原遺跡(中野市)
- 3 長野県宝指定記念「信州の特色ある縄文土器」  
月見松遺跡(伊那市)、上の林遺跡(箕輪町)、中越2遺跡(宮田村)ほか

#### 〈主な展示資料〉

栗林遺跡の「水さらし場状遺構」の保存処理後復元展示、北村遺跡の縄文時代後期土器とエナメル質減形成がある人骨、エリ穴遺跡の土製耳飾り、中村中平遺跡の土製耳飾り、一津遺跡のヒスイ製装身具、月見松遺跡の「顔面把手付深鉢形土器」、上の林遺跡の「抽象絵画文有孔鏝付土器」、沢尻東原遺跡出土の土器・石器、南大原遺跡出土の土器と鉄加工関連出土品など。

#### 〈印刷物〉

ポスター B2判表カラー 2,200部

チラシ A4判カラー 16,000部  
リーフレット A3折カラー 5,000部

#### 〈担当〉

考古資料課 西山克己、町田勝則、  
杉木有紗、近藤尚義

#### ●ミニ展示

「屋代に田んぼが作られるまで～縄文時代後・晩期の屋代遺跡群・更埴条里遺跡」

令和2年(2020年)3月25日(水)

～6月14日(日)〔4月15日(水)

～5月31日(日)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館)

(開催日数 30日間)

入場者数 882人

主催 長野県立歴史館

#### 〈展示趣旨〉

当館前の低地にスポットを当て、屋代遺跡群・更埴条里遺跡から出土した土器・石器から縄文時代後晩期～弥生時代中期の土地利用の変遷を描きます。

#### 〈主な展示資料〉

縄文時代後期中葉の深鉢形土器、縄文時代晩期末葉の打製石斧、弥生時代中期の緑簾石を多量に含む壺、弥生時代前～中期の石庖丁。

#### 〈担当〉

総合情報課 寺内隆夫 水沢教子

### Ⅲ 教育普及公開

#### 1 学校・団体見学 実施記録

##### (1) 学校見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックヤード	備考
4月8日	水	11:10-12:40	屋代高等学校附属中学校1年生	3	80	5	○	探検	
8月19日	水	9:10-10:40	飯綱町立三水小学校6年生	1	28	2	○	見学	
8月20日	木	10:40-12:10	長野市立信里小学校6年生	1	6	2	○	見学	
8月21日	金	9:10-10:10	長野市立西条小学校6年生	1	12	3	○	見学	
		9:10-10:10	長野市立清野小学校6年生	1	5	2	○	見学	
8月25日	火	9:10-10:40	上田市立浦里小学校6年生	1	5	1	○	見学	
8月26日	水	10:30-12:10	佐久徳町立佐久徳小学校6年生	3	90	7	○	見学	
8月27日	木	9:10-10:40	信濃町立信濃小中学校6年生	2	56	3	○	見学	
		10:40-12:10	長野市立長沼小学校6年生	1	16	2	○	見学	
		10:40-12:10	中野市立延徳小学校6年生	1	23	2	○	見学	
		12:00-13:30	木島平村立木島平小学校6年生	1	36	2	○	見学	
8月28日	金	13:40-14:40	軽井沢町立軽井沢西部小学校6年生	2	51	4	○	見学	
		9:10-10:40	長野市立豊野東小学校6年生	1	24	2	○	見学	
		10:40-12:10	上田市立塩尻小学校6年生	1	31	2	○	見学	
		12:10-13:40	大田市立美麻小中学校6年生	1	11	2	○	見学	
9月1日	火	13:10-14:40	木曾町立日義小学校4年生	1	19	3	○	見学	
		10:40-12:10	上田市立本原小学校6年生	1	37	2	○	見学	
9月2日	水	15:10-16:20	伊那市立西箕輪小学校4年生	2	62	5	○	見学	
9月2日	水	9:10-10:40	小諸市立東小学校6年生	3	76	4	○	見学	
9月3日	木	9:10-10:40	中野市立永田小学校6年生	1	12	3	○	見学	
		9:10-10:15	上田市立菅平小学校6年生	1	5	2	○	見学	
		10:40-12:10	長和町立長門小学校6年生	1	26	2	○	見学	
		10:40-12:10	須坂市立須坂小学校6年生	1	36	2	○	見学	
9月4日	金	12:10-13:40	山ノ内町立南小学校6年生	1	12	2	○	見学	
		9:10-10:40	長野市立保科小学校6年生	1	26	2	○	見学	
		10:40-12:10	立科町立立科小学校6年生	2	47	4	○	見学	
9月8日	火	12:10-13:40	長野市立柳原小学校6年生	2	72	4	○	見学	
		9:10-10:40	東御市立滋野小学校6年生	2	44	3	○	見学	
		10:40-12:10	長野市立信州新町小学校6年生	1	23	3	○	見学	
9月10日	木	12:30-13:30	根羽村義務教育学校根羽学園6年生	1	2	3	○	見学	
		9:10-10:40	山形村立山形小学校6年生	3	99	9	○	見学	
9月11日	金	13:40-15:10	上田市立南小学校6年生	4	113	5	○	見学	
		9:10-10:40	千曲市立東小学校6年生	2	60	6	○	見学	
		10:40-12:10	東御市立和小学校6年生	2	68	3	○	見学	
9月15日	火	15:00-16:00	上越市立大和小学校6年生	1	30	4	○	見学	
		10:40-12:10	長野市立湯谷小学校6年生	3	87	4	○	見学	
9月16日	水	13:10-15:10	長野市立川中島小学校6年生	4	108	5	○	見学	
9月16日	水	13:40-15:10	長野市立豊野西小学校6年生	2	55	4	○	見学	
9月18日	金	10:40-12:10	長野市立豊栄小学校6年生	1	16	2	○	見学	
9月24日	木	9:10-10:40	木曾町立日義小学校6年生	1	16	4	○	見学	
		10:40-12:10	長野市立三輪小学校6年生	2	57	3	○	見学	
9月25日	金	11:00-12:00	長野ろう学校6年生	1	3	2	○	見学	
9月25日	金	13:40-15:10	長野市立安茂里小学校6年生	2	46	4	○	見学	
9月30日	水	9:10-10:10	駒ヶ根市立中沢小学校4年生	1	14	4	○	見学	
		12:10-13:40	長野市立篠ノ井東小学校6年生	3	84	4	○	見学	
		13:40-15:10	長野市立徳間小学校6年生	3	100	6	○	見学	
10月1日	木	9:10-10:40	中野市立豊井小学校6年生	1	19	2	○	見学	
		12:10-13:40	東御市立林津小学校6年生	2	44	3	○	見学	
		13:40-15:10	長野市立南部小学校6年生	3	108	5	○	見学	
10月2日	金	10:40-12:00	長野市立浅川小学校6年生	2	70	4	○	見学	
		12:10-13:40	松本市立岡田小学校6年生	2	54	7	○	見学	
		13:40-15:10	安曇野市立豊科東小学校6年生	1	32	3	○	見学	
10月6日	火	9:10-10:40	松本市立今井小学校6年生	1	29	4	○	見学	
		10:40-11:40	山ノ内町立東小学校6年生	2	39	6	○	見学	
		11:40-13:40	長野市立篠ノ井西小学校6年生	4	133	5	○	見学	
		14:20-15:50	箕輪町立箕輪東小学校6年生	1	24	5	○	見学	
10月7日	水	10:40-12:10	松本市立島立小学校6年生	3	50	6	○	見学	
		15:10-16:10	伊那市立伊那北小学校6年生	2	67	7	○	見学	
10月8日	木	9:10-10:40	栄村立栄小学校6年生	1	8	2	○	見学	
		9:20-10:25	飯山市立戸狩小学校6年生	1	25	5	○	見学	
		10:40-12:10	中野市立平野小学校6年生	3	92	5	○	見学	
		12:10-14:10	長野市立下水鉦小学校6年生	4	123	5	○	見学	
		9:10-10:40	長野市立加茂小学校6年生	1	33	2	○	見学	

10月9日	金	9:00-10:20	阿智村立阿智第三小学校6年生	1	8	3	○	見学	
		10:40-12:10	上田市立東小学校6年生	3	81	3	○	見学	
		12:10-13:40	塩尻市立片丘小学校5年生	1	22	4	○	見学	
		14:20-15:10	佐久市立白田小学校4年生	2	37	2	○	見学	
10月13日	火	9:00-10:40	安曇野市立徳高南小学校6年生	3	90	12	○	見学	
		10:40-12:10	阿南町立天下条小学校6年生	1	13	4	○	見学	
		10:40-12:10	千曲市立屋代中学校特別支援学級	1	6	2	○	見学	
		12:10-13:40	松本市立女鳥羽中学校1年生	4	111	11	○	見学	
10月14日	水	13:40-15:10	松本市立二子小学校6年生	2	52	3	○	見学	
		9:10-10:25	木祖村立木祖小学校6年生	1	21	5	○	見学	
		10:40-12:10	岡谷市立上の原小学校6年生	2	49	5	○	見学	
		12:10-13:40	安曇野市立徳高西小学校6年生	3	72	9	○	見学	
10月15日	木	13:30-14:30	飯田市立下久堅小学校4年生	1	31	4	○	見学	
		9:10-10:40	千曲市立更級小学校6年生	1	24	2	○	見学	
		9:10-10:40	長野原町立中央小学校6年生	1	14	5	○	見学	
		10:30-12:00	長野市立綿内小学校6年生	2	57	5	○	見学	
10月16日	金	13:40-15:10	長野市立青木島小学校6年生	4	108	4	○	見学	
		15:30-17:00	静岡県三島市立德倉小学校6年生	3	71	9	○	見学	
		10:40-12:00	上田市立北小学校6年生	3	89	5	○	見学	
		13:40-15:10	伊那市立西春近北小学校6年生	1	31	5	○	見学	
10月20日	火	10:40-12:10	白馬村立白馬北小学校6年生	2	43	7	○	見学	
		12:30-14:00	安曇野市立徳高北小学校6年生	4	109	6	○	見学	
		14:00-15:30	箕輪町立箕輪中部小学校4年生	3	99	11	○	見学	
10月21日	水	9:10-10:40	小海町立小海小学校6年生	1	25	5	○	見学	
		10:40-12:10	阿智村立浪合小学校6年生	1	7	3	○	見学	
		12:00-13:30	南箕輪村立南部小学校6年生	2	43	6	○	見学	
10月22日	木	9:10-10:40	塩尻市立桔梗小学校4年生	3	103	6	○	見学	
		10:40-12:10	小谷村立小谷小学校6年生	1	20	5	○	見学	
10月22日	木	12:30-13:30	軽井沢高等学校1年生	3	78	7	○	見学	
		14:15-15:45	安曇野市立豊科北小学校6年生	3	84	10	○	見学	
10月23日	金	9:10-10:25	坂城町立坂城小学校6年生	1	40	4	○	見学	
		10:40-12:10	松川村立松川小学校6年生	3	78	6	○	見学	
		12:10-13:40	松本市立岡田小学校あさひ分校4・5・6年生	1	11	7	○	見学	
10月27日	火	13:40-15:10	松本市立本郷小学校6年生	2	41	3	○	見学	
		9:00-10:30	大町市立大町北小学校6年生	2	55	3	○	見学	
		10:40-12:10	中野市立中野小学校6年生A	4	119	6	○	見学	B 見学13:40-15:10
10月28日	水	12:10-13:40	松本市立梓川小学校6年生A	3	91	7	○	見学	
		9:10-10:40	長野市立緑ヶ丘小学校6年生	3	100	11	○	見学	
		10:40-12:10	佐久市立泉小学校6年生	2	47	3	○	見学	
10月29日	木	12:10-13:40	松本市立梓川小学校6年生B	2	61	6	○	見学	
		13:40-15:10	朝日村立朝日小学校6年生	2	35	7	○	見学	
		9:10-10:40	上田市立城下小学校6年生	3	77	5	○	見学	
		10:40-12:10	佐久市立岩村田小学校6年生	3	72	7	○	見学	
10月30日	金	13:00-14:30	上田市立長小学校6年生	1	23	4	○	見学	
		14:30-15:30	飯山市立泉台小学校6年生	1	21	5	○	見学	
		9:10-10:40	松本市立島内小学校6年生A	4	105	10	○	見学	B 見学15:40-16:40
		9:10-10:40	小川村立小川小学校6年生	1	15	3	○	見学	
11月5日	木	11:15-12:15	上田市立塩田西小学校6年生	2	42	3	○	見学	
		12:05-13:40	泰阜村立泰阜小学校6年生	1	7	3	○	見学	
		14:30-16:30	茅野市立玉川小学校6年生	4	125	13	○	見学	
		9:10-10:40	須坂市立仁礼小学校6年生	2	42	3	○	見学	
11月6日	金	10:40-12:10	松本市立並柳小学校6年生	2	75	10	○	見学	
		12:00-13:30	箕輪町立箕輪西小学校6年生	1	22	4	○	見学	
		13:40-15:10	下諏訪町立下諏訪南小学校6年生	3	110	10	○	見学	
		10:40-12:10	長野市立松ヶ丘小学校6年生	2	33	3	○	見学	
11月10日	火	12:10-13:40	長野市立共和小学校6年生	2	51	4	○	見学	
		13:40-15:10	箕輪町立箕輪北小学校6年生	2	56	11	○	見学	
		9:10-10:40	高山村立高山小学校6年生	2	66	3	○	見学	
11月11日	水	10:40-12:10	中野市立日野小学校6年生	1	10	4	○	見学	
		13:40-15:10	飯田市立龍江小学校6年生	1	23	5	○	見学	
		9:10-10:40	諏訪市立豊田小学校6年生	2	61	7	○	見学	
11月12日	木	10:40-12:10	伊那市立伊那西小学校6年生	1	13	5	○	見学	
		12:10-14:10	佐久市立佐久平浅間小学校6年生	4	119	6	○	見学	
		14:10-15:40	伊那市立伊那小学校4年生	3	92	9	○	見学	
		9:10-10:30	飯島町立飯島小学校6年生	2	67	7	○	見学	
11月13日	金	13:40-15:10	阿智村立阿智第二小学校6年生	1	19	4	○	見学	
		13:40-14:40	阿智村立清内路小学校6年生	1	4	4	○	見学	
		10:40-12:10	白馬村立白馬南小学校6年生	1	18	2	○	見学	
		12:00-13:30	野沢温泉村立野沢温泉小学校6年生	1	32	6	○	見学	
		13:40-15:10	千曲市立八幡小学校6年生	1	31	2	○	見学	

11月17日	火	12:10-13:40	南牧村立南牧北小学校6年生	1	12	2	○	見学	
11月18日	水	10:40-11:40	安曇野市立三郷小学校6年生A	5	150	13	○	見学	B 見学12:25-13:25
11月19日	木	9:10-10:40	小諸市立千曲小学校6年生	1	15	3	○	見学	
		9:10-10:40	須坂市立豊丘小学校6年生	1	13	2	○	見学	
		10:40-12:10	信州大学教育学部附属松本小学校6年生	2	67	7	○	見学	
		12:10-13:40	坂城町立南条小学校6年生	2	55	3	○	見学	
11月20日	金	10:30-11:30	富士見町立境小学校4年生	1	19	3	○	見学	
		13:10-15:10	長野市立大豆島小学校6年生	4	115	6	○	見学	
11月25日	水	9:10-10:20	須坂市立旭ヶ丘小学校6年生	2	43	4	○	見学	
11月26日	木	9:10-10:40	池田町立会染小学校6年生	1	35	3	○	見学	
		10:40-12:10	安曇野市立豊科南小学校6年生	3	103	12	○	見学	
11月27日	金	9:10-10:40	佐久市立中込小学校6年生	2	58	3	○	見学	
		10:30-12:00	飯山市立常磐小学校6年生	1	13	2	○	見学	
		10:30-12:00	飯山市立東小学校6年生	1	11	2	○	見学	
		13:30-15:00	大町市立大町南小学校6年生	2	42	3	○	見学	
12月1日	火	10:40-11:40	飯山市立飯山小学校6年生	2	44	6	○	見学	
12月2日	水	10:40-12:10	長野市立大岡小学校6年生	1	5	2	○	見学	
12月4日	金	10:40-12:10	須坂市立日滝小学校6年生	2	45	3	○	見学	
12月8日	火	9:10-10:40	須坂市立高甫小学校6年生	1	28	2	○	見学	
		10:40-12:10	中野市立高社小学校6年生	2	67	4	○	見学	
		13:40-15:10	須坂市立森上小学校6年生	2	36	6	○	見学	
12月10日	木	9:10-10:40	須坂市立小山小学校6年生	2	59	3	○	見学	
		10:40-11:45	辰野町立辰野西小学校6年生	2	58	8	○	見学	
12月11日	金	9:10-10:40	駒ヶ根市立赤穂東小学校5年生	2	64	6	○	見学	
		10:40-11:40	長野日大小学校6年生	1	37	3	○	見学	
12月16日	水	9:10-10:40	佐久市立臼田小学校6年生	1	27	4	○	見学	
12月18日	金	9:10-10:40	長野市立塩崎小学校6年生	1	32	2	○	見学	
1月22日	金	10:40-11:40	長野西高校中条校1年生	1	24	3	○	見学	
2月2日	火	9:30-11:30	長野市立柳町中学校特別支援学級	1	14	1	○	見学	
2月5日	金	9:10-10:40	小布施町立栗ヶ丘小学校6年生	3	98	4	○	見学	
2月10日	水	10:15-12:00	塩尻市立広丘小学校5年生	3	104	8	○	見学	
2月19日	金	9:10-10:40	長野市立広徳中学校特別支援学級	4	24	4	○	見学	
3月2日	火	13:30-14:30	有明福祉会あかね保育園	1	27	6	○	見学	
3月9日	火	13:30-15:00	南箕輪村立南部小学校4年生	1	22	3	○	見学	
			合計	316	8152	769	167	166	

## (2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックマーク	備考
11月8日	日	終日	信大教員免許講習		17		○	見学	
			合計		17		1		

## (3) 一般団体見学 実施記録

月日	曜日	時間	申込者	クラス数	人数	引率	解説	バックマーク	備考
9月1日	火	9:40-10:40	【一般】松本市本郷地区南郷福祉ひろば		18		○	見学	
10月23日	金	13:30-15:30	【一般】長野西高等学校同協会		18		○	見学	
11月10日	火	15:00-16:00	須坂市生涯学習センター市民学園		13		○	見学	
11月11日	水	9:15-10:00	【一般】平出道跡公園ガイドダンス棟どんぐりの会		11		○	見学	
3月14日	日	9:45-10:05	【一般】ボーイスカウト長野県連盟		16	14	○		
3月21日	日	9:30-10:30	【一般】森将軍塚古墳ボランティアガイド		19	3	○		
			合計		95		6		

## 2 企画展関連講演会等

8月8日	・夏季企画展関連トークセッション 「地酒王国—信州酒の地域性・自然・未来—」	コーディネーター笹本正治(当館館長) パネラー: 薄井智哥子氏(大雪渓酒造代表取締役)、若林真実(若林酒造杜氏)、由井詩織(県酒造組合PR大使)、畔上不二男(当館職員)	80
8月22日	・夏季企画展関連講演会 「信州の酒文化と歴史・雑学」	相沢節子(県原産地呼称管理委員会日本酒・焼酎委員会相談役)	63
11月22日	・秋季企画展関連シンポジウム 「集落間の連携と「クニ」の誕生を考える」	コーディネーター: 石川日出志(明治大学文学部教授) パネラー: 馬場伸一郎(長野県埋蔵文化財センター)、柳生俊樹(中野市教育委員会) 土屋和章(安曇野市教育委員会) 春日宇光(飯田市教育委員会)	80
2月6日	・冬季展関連講座 「画家・中村不折の生涯と芸術」	林 誠(当館職員)	67

### 3 講座

#### (1) 県立歴史館の信州学講座

##### ① 館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
5月9日(土)	新たな時代にはばたく信州	笹本 正治	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
6月13日(土)	伝えられない災害	林 誠	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
7月4日(土)	上田から見る戌の満水	高野 美佳氏 (上田市立博物館)	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
1月16日(土)	学び続ける信州人でありたい	畔上不二男	44
2月20日(土)	雛人形の歴史	小野 和英	30
3月6日(土)	上田から見る戌の満水	高野 美佳氏 (上田市立博物館)	67

##### ② 信州学出前講座 in 飯田

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
8月29日(土)	飯田市立美術博物館	信州の城と石垣	白沢 勝彦	30

##### ③ 信州学出前講座 in 大桑

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
10月24日(土)	大桑民俗資料館	古代道路の構造と長野県内の遺構	白沢 勝彦	22

##### ④ 信州学出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月21日(土)	箕輪町みのわ地域 交流センター	地酒王国信州	畔上不二夫	14
		雛人形の歴史-江戸と信州の贈答 品から見る-	小野 和英	

(2) 考古学講座 『考古資料が語る－縄文時代・弥生時代の“食”と社会－』

月 日	テーマ	講 師	参加者数
4月25日(土)	信州の縄文早期の世界	藤森 英二 (北相木村教育委員会)	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
7月11日(土)	縄文人の食料加工技術	杉木 有紗	中止 (新型コロナウイルス感染症対応)
10月31日(土)	稲作と社会の変化－共同体の発達を考える－	町田 勝則	70
1月30日(土)	特設 土器に残された“食”の痕跡－土器圧痕レプリカをとってみよう－	杉木 有紗ほか	11

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A:6月7日(日) B:6月11日(木)	古文書学習ことはじめ	村石 正行	中止
A:7月12日(日) B:7月12日(木)	歴史的仮名遣いを学ぼう	小野 和英	中止
A:8月2日(日) B:8月2日(木)	街道の史料を見てみよう	小野 和英	中止
A:9月6日(日) B:9月10日(木)	江戸時代後期の村びとと書肆 四	伊藤 友久	中止
A:10月4日(日) B:10月4日(木)	明治改元150年 文書から見る長野県誕生 参	伊藤 友久	中止

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A:6月6日(土) B:6月11日(木)	伊能忠敬の「先触れ」(さきぶれ)を読んでみよう	小野 和英	中止
A:7月11日(土) B:7月16日(木)	信州の酒の蔵元史料を読んでみよう	畔上不二男	中止
A:8月1日(土) B:8月1日(木)	日本山海名産図会の酒醸(酒造)を読んでみよう	畔上不二男	中止
A:9月5日(土) B:9月10日(木)	江戸時代 西の丸で煙草を喫んだ女房のはなし	村石 正行	中止
A:10月3日(土) B:10月8日(木)	江戸時代の手紙作法のはなし	村石 正行	中止

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月17日(土)	上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也	中止
6月15日(土)	上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也	中止
7月17日(土)	上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也	中止
8月17日(土)	上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也	中止
9月17日(土)	上田城下町問屋日記(抄)	尾崎 行也	中止

④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
8月4日~7日	古文書に親しもう(1)~(4)	村石 正行	中止

⑤古文書フォローアップ講座

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
10月25日(日)	館蔵武田家文書を読む	笹本 正治	中止

#### 4 考古学セミナー

考古学セミナーは、長野県考古学会との共催事業と位置付けられている。令和2年度からは、当館での実施を年1回に変更した。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
開催予定日 6月6日(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 開催を中止とした。		0

#### 5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催として実施。「古文書を守る」をテーマにして、2名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月5日(土) 13:00~15:40	研究発表 「小諸市古文書調査室の取り組み」  講演 「「ウィズ・コロナ」社会の地域歴史資料 保全」	市川包雄会員  西村慎太郎氏(国文学研 究資料館准教授)	33

#### 6 講習会

##### (1) 考古資料保存処理講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 開催を中止とした。		0

(2) 文献史料保存活用講習会

月 日	テーマ	講師	参加者数
7月31日(金) 13:30~15:00	国立公文書館認証アーキビスト説明会	梅原康嗣氏(国立公文書館統括公文書専門官) 長岡智子氏(国立公文書館公文書専門官)	8
10月29日(木) 13:30~15:30	第1回講習会 長野市公文書館 テーマ「公文書館の仕事Ⅰ ー長野市公文書館の事例に学ぶー」 講義1「長野市公文書館の概要」 講義2「長野市公文書館の業務 公文書受け入れから公開まで」	西沢安彦氏・関 秀延氏 (長野市公文書館専門主事)	37
1月28日(木) ・29日(金)	第2回講習会 28日(木)・29日(金) テーマ「地域資料を後世に遺すためのワークショップ」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBによる開催とした。	多仁 照廣(若狭路文化研究所所長・元敦賀短期大学教授)	26

## 7 各種講習会・イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
8月2日	歴史館で夏休み	発酵のお話会	27
		発酵の教室	36
		お宝発見大作戦	75
12月20日	Goolightの日関連	歴史館ツアー	56
		Goolight制作4K番組上映	35
		史料の特別公開(徳川家康書状)	195
		来館者プレゼント	52
11月29日	弥生風クリスマスリースを作ろう	リース作り用キットの配布	26
1月19日	KOAの日関連	オンライン授業(南箕輪小学校6年生)	118
1月23日		入館者(入館料無料)	138

758

## 8 展示解説

事前に解説を申し込んだ団体を対象に展示解説を実施（解説実施 団体）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学校数	1	0	0	0	15	25	67	35	12	1	4	0
一般団体数	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1
小計	1	0	0	0	15	26	68	37	12	1	4	1

## 9 学校との連携

### (1) 千曲市立東小学校との連携

→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・総合的な学習の時間「アプリコットタイム」の講座「歴史探検」  
年間7回を学校と共に計画を立案し、勾玉作り、ペーパークラフト作り、黒曜石ナイフ・弓矢体験学習等の講師を務めた。

### (2) 埼玉大学教育学部附属中学校2年生への学習支援（7月9日）

→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・当館の見学に合わせて設定した個人研究テーマに基づき学習支援を行った。事前に送られてきた質問への回答を行い、見学当日も疑問に答えたり、学習の進め方へのアドバイスをしたりするなどの支援をした。生徒25名。

### (3) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月9日）

→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- ・研修講座「歴史学習の教材研究～長野県立歴史館の資料を活用して～」  
講義「地域素材の教材化」の講師を務めた。  
演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。

### (4) 信州大学教員免許更新講習の開設（7月28日中止、7月31日中止、 11月8日 計3日間）

- ・「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定」に基づき、当館を会場にして講習を開設した。（受講者は1回の合計で19名）
- ・総合情報課長による講義、館内の案内、演習時の支援等を行った。
- ・感染症対策を講じ、少人数で開催した。

### (5) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（2月10日）

- ・信州大学学芸員資格取得講座「博物館経営論」の授業の一部を当館で実施した。(受講者は7名)
- ・当館職員と信州大学教員による講義および館内施設を活用して演習を行った。

## (6) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施計画を立案し、上伊那・下伊那・木曾・諏訪地方の小中学校、公民館に広報活動を行った。
- ・実施した学校数：5校、学級数：6学級、公民館数1館1講座、実施人数206名。詳細は以下の通り。

令和2年7月23日(木・祝) 阿南町立阿南第二中学校(下伊那郡阿南町)

対象：中学校1年生 1クラス 5名

内容：土器や石器にふれよう

担当：加藤、宮坂

8月9日(日) 下條村教育委員会(下伊那郡下條村)

対象：小中学生と保護者・一般のべ16名

内容：土器に触れよう・ペーパークラフトで土器をつくろう

担当：加藤、宮坂

11月19日(木) 南木曾町立南木曾小学校(木曾郡南木曾町)

対象：小学校6年生 1クラス 31名

内容：土器や石器にふれよう

担当：加藤、宮坂

12月24日(木) 伊那市立美篤小学校(伊那市)

対象：小学校6年生 2クラス 62名

内容：まるごと歴史館

担当：大森、宮坂

令和3年1月14日(木) 下諏訪町立下諏訪北小学校(諏訪郡下諏訪町)

対象：小学校6年生 2クラス 62名

内容：土器や石器にふれよう

担当：大森、宮坂

2月19日(木) 木曾町立日義小学校(木曾郡木曾町)

対象：小学校6年生 2クラス 30名

内容：縄文人になろう(3校時)

戦国時代の木曾を生きた木曾義昌(4校時)

担当：大森、宮坂

## 10 博物館実習

- ・実習期間 第1グループ：8月20日（木）～8月25日（火） 8月24日（月）を除く5日間  
第2グループ：8月26日（水）～8月30日（日）の5日間
- ・実習生 第1グループ 3名、第2グループ 5名
- ・内容 考古資料の収集・整理・保存、文献史料の収集・整理・保存、展示の実務、文化財の取り扱い、展示の設計、展示解説とデジタルコンテンツ、資料閲覧・図書の実務、館長講和、課題討論「県立歴史館の伸び代」

## 11 インターンシップ

本年度は申し込み無し

## 12 職場体験学習

- (1) 中学生による職場体験学習（1校、8名）  
※学校にて職場講話を実施  
○ 9月3日 5・6校時（1日間） 千曲市立屋代中学校2年生（8名）
- (2) 高校生による就業体験学習（2校、2名、のべ5日間、5名）  
○ 8月18日～19日（2日間） 長野市立長野高等学校1年生（1名）  
○ 2月16日～18日（3日間） 長野県稲荷山養護学校2年生（1名）
- (3) 社会人研修（0校、0名、のべ0日間、0名）

## 13 サークル育成活動

- 古文書愛好会
- (1) 館蔵文書を読む会  
大井法華堂文書解説 本年度中止
- (2) 古文書探訪会  
本年度中止
- (3) 古文書演習

本年度中止

(4) グループ学習会

本年度中止

(5) 総会

- ① 日時 2月28日(日) 午後12時30分～3時30分
- ② 議題 ・令和2年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告  
・令和2年度度古文書愛好会会計監査報告  
・令和3年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案
- ③ 参加者 会員 24人 事務局2人 計 26人

## 14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 3月予定を新型コロナウイルス感染防止のため中止。
- ② 保険の加入 3回にわたり手続した。保険適用は無かった。
- ③ 募集 ホームページ、千曲市のちらし回覧、エントランスにちらし設置等
- ④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	52	28	16	96	63
年度末数(人)	3/31	53	29	22	104	69

- ⑤ 招待券・館だより等の送付  
※例年、会員を内覧会へ招待していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために今年度は招待しなかった。
- ⑥ 解説ボランティア、体験ボランティアの方の作業ボランティア実施  
・新型コロナウイルス感染拡大により、体験・解説ボランティアの機会が減少したため、現会員への作業ボランティア活動への希望をとり、古文書整理(文献)と図書整理(総情)の作業ボランティアを実施した。
- ⑦ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

- ① 一般客への展示解説 「日曜解説」  
※4月～10月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止  
・実施日 毎週日曜日と祝日(通年) 21日(11月～2月)

- ・実施時間 午前 10:30～12:30 午後 1:30～3:30 (12～2月は1:00～3:00)
- ・解説人数 午前・午後ともに1～2名
- ・解説方法 マスク、ソーシャルディスタンス等の感染防止対策を行い、展示室で声がけをしながら適宜行った。

② イベント時における展示解説と監視

- ・企業協賛の日（グーライトの日）には、監視も兼ねて解説をしていただいた。

③ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、内覧会、自主研修ほか

(3) 体験ボランティア活動

- ・勾玉づくり、プラ板づくり等の対面型のイベントはできなかつたため、活動をする事ができなかつた。
- ・クリスマスリースのキットづくりについて活動希望をとつたが、希望者はいなかつた。

(4) 作業ボランティア活動

①活動内容 ※平日に活動

- ・木製品処理 ※実施日：21日（7月～3月） 実会員：6名
- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）  
※実施日：107日 実会員：9名（それぞれ週1日程度）
- ・図書整理 ※実施日：3日（11月～12月） 実会員：1名

②運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課から連絡し、運営した。

## 15 博物館関係職員等研修会

- (1) 趣 旨 博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。

- (2) 主 催 長野県教育委員会、長野県博物館協議会

- (3) 期 日 令和3年2月18日（木）

- (4) 会 場 長野県立歴史館

- (5) 参加者数 56人

対象者 博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員、市町村教育委員会職員、教育事務所職員、県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

(6) 日程・内容

午前 (進行：長野県博物館協議会事務局)

10:00～10:30 受付 (エントランスにて)

10:30～10:45 開会行事 (主催者挨拶＝小林芳昭課長補佐)

研究テーマ「博物館等の災害への備えと対応」

10:50～11:20 事例報告①「長野県文化財レスキューの現状について」

新津 尚治 氏 (長野県教育委員会文化財生涯学習課)

11:30～12:30 事例報告②「水害時の未指定資料 (文化財) の救済－長野市立博物館では－」

原田 和彦 氏 (長野市立博物館)

12:30～13:30 昼食 (各自持参またはコンビニ・食堂等利用)

午後 (進行：長野県教育委員会)

13:10～13:30 午後のみ参加者受付 (エントランスにて)

13:30～14:40 講演①「被災地からの文化財・歴史資料救出－災害の時代の博物館の役割－」

〈講師〉矢田 俊文 氏 (新潟大学名誉教授)

14:40～14:50 休憩

14:50～16:00 講演②「今見直される、地域史資料保全への取り組み」

〈講師〉福嶋 紀子 氏 (松本大学)

16:00～16:15 閉会行事 (主催者挨拶＝笹本正治県博協会長、連絡)

16:15 解散

\*新型コロナウイルス感染防止策

- ・実務研修、研究協議、情報交換会は設けない
- ・募集人数制限 (70人)
- ・講堂の座席間隔設定、換気、質問はとらない
- ・参加者の昼食会場は講堂とする
- ・参加者全員のマスク着用
- ・受付での体温測定、手指消毒

## 16 職員派遣(出前講座)

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
6月18日	市立長野高校ながのろじー	邪馬台国時代の信州	12	町田 勝則
7月4日	武田氏研究会総会記念講演	甲斐源氏小笠原氏一長時・貞慶・秀政一	50	村石 正行
7月17日	松代公民館歴史講座	信濃の国が長野県になるまで	60	伊藤 友久
7月18日	平出博物館土曜サロン	石器組成にみる縄文時代の生業	30	杉木 有紗
8月27日	若葉会定期総会・講演会	地酒王国信州～県立歴史館令和2年度夏季企画展より～	28	畔上 不二男
8月29日	信州学出前講座in飯田	信州の城と石垣	30	白沢 勝彦
9月3日	市立長野高校ながのろじー	中世の善光寺と戦乱	10	村石 正行
9月7日	佐久市 市民ふれあい学級	福沢諭吉の信州漫遊	35	村石 正行
10月2日	岡谷市川岸公民館「いちい学級」	諏訪の弥生文化を考える	16	町田 勝則
10月8日	市立長野高校ながのろじー	絵師が見た中山道	10	小野 和英
10月9日	長野西高校 梶の葉セミナー	土偶の作成方法と胎土	13	水沢 教子
10月16日	長野西高校 梶の葉セミナー	稲作と国の誕生	12	町田 勝則
10月18日	須坂市博物館歴史文化講演会	須田満親の生涯	150	村石 正行
10月24日	信州学出前講座in大桑	古代道路の構造と長野県内の遺構	22	白沢 勝彦
10月24日	平出博物館土曜サロン	石器生産と流通に見る弥生文化	34	町田 勝則
10月30日	湯～ばれあ歴史講座	もう一つの五稜郭を造った男「大給恒」	15	中野 亮一
11月1日	高森町資料館「時の駅」講座	段丘に農を営む	50	町田 勝則
11月6日	松代公民館歴史講座	松代城本丸石垣群の築造について	47	白沢 勝彦
11月11日	坂城中学校放課後「学びほぐしタイム unlearn time」	本物の土器に触れて縄文人と対話しよう	20	杉木 有紗
11月12日	市立長野高校ながのろじー	地酒王国 信州	14	畔上 不二男
11月20日	湯～ばれあ歴史講座	明治期の陶器生産～北信地方の様相から～	5	近藤 尚義
11月21日	信州学出前講座 in箕輪	地酒王国信州の誕生 / 雛人形の歴史	14	畔上不二男/小野和英
11月23日	「歩く・見る・聞く」諏訪を知る歴史講座	信州の城と石垣	41	白沢 勝彦
11月26日	稲荷山公民館教養講座	戦前の観光地-信州	24	林 誠
12月12日	松代学講座	松代城下以前の松代	40	村石 正行
12月24日	千曲市文化財調査会	県内における歴史資料の流出をめぐる現状	30	村石 正行
2月21日	芋井の歴史を学ぶ会勉強会	雛人形の歴史-江戸と信州の節句贈答について-	34	小野 和英

#### IV 共催事業等

月日	共催事業	共催団体	参加者数
12月5日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	33
10月29日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	37
11月8日	教員免許状更新講習	信州大学	19
1月28日、29日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	26
2月10日	信州大学学芸員資格取得講座(博物館経営論)	信州大学	7
2月18日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	56
2月28日	古文書愛好会総会講演会	古文書愛好会	24

## V 出版

### 1 長野県立歴史館たより

#### (1) 夏号 vol. 103 表紙 通徳利

(坂井銘醸株式会社蔵)

令和2年2月5日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「常設展示室から」、令和2年度夏季企画展、研究の窓「山中の口留番所から江戸時代を見る」、4月1日から歴史館のホームページが新しくなりました!!、おしらせ「講座・イベント等の対応について」・「3つの密を避けましょう!」・「新ホームページキャラクターお名前大募集中」、6月～9月の行事予定

#### (2) 秋号 vol. 104 表紙 吉武高木遺跡3号木棺墓出土品(文化庁蔵)

令和2年8月4日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：秋季企画展「稲作とクニの誕生—信州と北部九州—」、考古資料を読む「暮らしを支える古代の竈(かまど)—小諸市中原遺跡発掘例」、文献史料を読む「関ヶ原合戦と保科正光」、歴史資料を読む(夏季企画展資料紹介) 下戸倉村酒屋小五郎酒造願、冬季展のお知らせ「洋画家・書家・コレクター 中村不折—伊那谷から世界へ」、「千曲市と協定を結びました」、「新ホームページキャラクター お名前大募集中」、10月～12月の行事予定

#### (3) 冬号 vol. 105 表紙 中村不折筆

「卞和璞を抱いて泣く」(信州高遠美術館蔵)

令和2年12月3日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折—伊那谷から世界へ」、歴史資料を読む「丸田恒雄教諭が描いた満洲更科郷開拓団の営み」、考古資料を読む「石包丁はどのようにつかわれたのか」、研究の窓「信州に到達した石斧」「箸の橋渡し—千曲市東條遺跡出土の保存処理木器—」、インフォメーション「12～3月の行事予定」「行事アルバム」

#### (4) 春号 vol. 106 表紙 平家物語図屏風(当館蔵)

令和3年2月5日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：「令和3年度の歴史館」、「秋季企画展を終えて—ここまでわかった信州弥生文化のひとこま—」、2021年長野県立歴史館所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編—」、歴史資料をよむ「屋根を守り彩る瓦～軒丸瓦の文様～」、文献史料をよむ「女子教育の向上に尽力した河内山寅の履歴書」、行事アルバム「阿部守一知事との対談」・「秋季企画展シンポジウム」・「クリスマスリースをつくろう」、名前が決定しました!、3～6月の行事予定

## 2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第27号 令和3年3月31日発行、A4判、 頁、1,000円

<内容>

## 口絵／資料紹介

新収蔵史料 會津藩松澤家文書

村石 正行

## ◇研究報告

県立歴史館の武田家印判状を読む

—長沼城と龍雲寺—

笹本 正治

佐久郡岩村田「大井法華堂文書」について

村石 正行

自由大学運動の起因と崇高な理念

—生涯学習発祥地としての責務—伊藤 友久

栃倉式土器の製作に関する一考察

水沢 教子

近代図面史料（明治前半期の地図・測量設計

図）からみる近代のあゆみ

山浦 直人

## ◇授業実践

考古資料の教材化にむけての構想

近藤 尚義

## ◇資料紹介

篠ノ井遺跡群出土の磨製石剣

—発掘調査報告書で図示された磨製石剣の再

検討—

町田 勝則

## ◇職員執筆抄・研究活動

（宮坂到）、木曾義仲合戦図屏風（柴田洋孝）、  
笠懸犬追物図屏風（近藤尚義）、一光三尊像  
（近藤尚義）、東山名所図屏風（村石正行）、  
諸国名産図屏風（加藤廣美）、諸国名所百景  
（畔上不二男）、職人尽図（小野和英）、信州  
祭礼絵巻（畔上不二男）、四季農耕図屏風（加  
藤廣美）、信州飯山城之図（白沢勝彦）、江戸  
より松代迄 道中記（白沢勝彦）、信濃国埴科  
群西條邑六工製糸場之図（林誠）、長野県之  
温泉と名勝（林誠）

## 3 その他

- (1) 令和2・3年度催しもの案内（前期）  
（後期）

A4判（21.0×29.7cm）、三つ折カラー

- (2) 『信州の風土と歴史 25 学芸員が語  
る長野県立歴史館所蔵品選 第1巻  
—絵画—』令和3年3月16日発行、B5  
判、80頁、1000円

### <内容>

はじめに（笹本正治）、川中島合戦図屏風（笹  
本正治）、源氏物語図屏風（宮坂到）、紫式部・  
清少納言双幅（小野和英）、平家物語図屏風

## VI 閲覧・情報提供

### 1 図書等資料

#### (1) 図書資料数

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	小冊子	遺跡報告書	小計
自館制作	1	3	3	4	0	11
購 入	46	203	0	0	0	249
寄 贈	9,422	598	278	68	107	10,473
令和2年度計	9,469	804	281	72	107	10,733
累 計	41,139	35,997	7,154	10,733	26,169	121,192

#### (2) 文庫等図書資料数 (単位：冊)

長野県史刊行会	3,080
米山・関川・塚田・ 宝月文庫 他	15,349
長野県考古学会	5,685
累 計	24,114

#### (3) 公開用雑誌製本

雑誌製本 0件

#### (4) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 10本

寄贈CD-ROM 0本

累計 115本

### 2 情報提供

#### (1) レファレンス

115件

#### (2) ホームページアクセス数

94,219件

## Ⅶ 調査研究

### 1 調査研究の体制と内容

#### (1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

#### (2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

#### (3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

### 2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回(6月24日)

○館長講話 歴史研究の方法

笹本 正治

第2回(9月16日)

○未来の若者たちに資料を残すということ

村石 正行

第3回(10月14日)

○高校現場の信州学～蓼科高校の地域学より～

中野 亮一

第4回(10月28日)

○生涯教育発祥地としての責務

○北信地域における奉書土器の様相について

伊藤 友久  
柴田 洋孝

第5回(11月25日)

○木曾地域の小学校における木曾義昌と戦国の世

○考古資料の教材化について

宮坂 到  
近藤 尚義

第6回(12月23日)

○信州と稲荷信仰

○諏訪高島城本丸石垣群の構築と現状について

小野 和英  
白沢 勝彦

第7回(1月27日)

○学び続ける信州人でありたい

○狩猟採集の社会から農耕社会へ(一)

畔上 不二男  
町田 勝則

第8回(2月17日)

○青少年義勇軍が見た満州

大森 昭智

第9回(3月17日)

○与謝野寛筆 大正11年10月29日付中村不折宛書簡

—もうひとつの「鷗外全集」

○長野盆地の石材利用—縄文時代前半期の黒曜石利用について—

林 誠  
杉木 有紗

### 3 時代別研究会

#### (1) 令和2年度 時代別所属者名

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原始		水澤 教子 飯島 公子	町田 勝則 杉木 有紗	
古代 中世		中野 亮一 宮坂 到 柴田 洋孝	近藤 尚義	村石 正行
近世		畔上 不二男 加藤 廣美	白沢 勝彦	小野 和英
近現代	福島 良彦	林 誠 大森 昭智		伊藤 友久

#### (2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

## Ⅷ 資料の収集・整理・保存

### 1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

#### (1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

##### ① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

##### ② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的関係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

##### ③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

##### ④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータ化する必要がある。

#### (2) 資料収集の具体的方針

##### ① 収集資料の種類

###### (a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

###### (b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

###### (c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

###### (d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

##### ① 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館的施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史の変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

##### ③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史料刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じて専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的関係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なものについては優先的に対応する。

- (d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。
- (e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。
- (f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

## 2 展示資料

### (1) 収集資料数 (件)

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和元年	0	0	5	0	5

### (2) 製作・購入・移管資料の内訳

なし

### (3) 寄贈

品名	員数	時代	備考
従軍日誌及び抑留時資料	1式	近現代	日誌 23冊、抑留時メモほか
シンガー製足踏みミシン	1	近現代	昭和期アメリカ製
下駄スケート	1足	近現代	ASKOスケート社製
内裏雛 五人囃子 御所人形	2式 1式 4体	近世 近現代	文政二年、明治～大正 江戸時代 江戸時代
満州黒台信濃村からの手紙	1枚	近現代	附：軍人会徽章・学生同盟バッジ

### (4) 寄託

なし

### (5) 修復

・シンガー製足踏みミシン

## 3 考古資料

### (1) 収集資料数 (件)

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和元年	0	0	0	0	0

### (2) 購入・移管資料の内訳

なし

### (3) 寄贈・寄託の内訳

なし

#### (4) 保存処理・修復・科学分析

・保存処理・科学分析

館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。  
当館の設備を用いて、当県の歴史の研究のために必要とされる科学分析を実施した。

長野県埋蔵文化財センター並びに市町村教育委

員会へ必要な技術協力を行なった。

・その他

例年実施している、市町村埋蔵文化財担当者および博物館施設職員等を対象とした、考古資料保存処理講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止とした。

項目	内容		件名・資料名	処理点数	状況	所管
木器	大型木器等 PEG処理槽一括処理	PEG法※1	第33シリーズ(B槽) (社宮司遺跡他)	319	完了	当館
			第36シリーズ(D槽) (東條遺跡)	500	完了	当館
	小型木器	FD法※2 (FD処理待ち含む)		0		
	完了合計			819		
	PEG処理後写真記録整理		第33シリーズ(B槽319点) 第36シリーズ(D槽500点)	819	完了	当館
		第33・36シリーズ (記録整理)	819	完了	当館	
金属器	保存処理・修復		館蔵金属製品(中原遺跡)	48	完了	当館
			浅川扇状地遺跡群	148	完了	長野県埋蔵文化財センター
			石川糸里遺跡	25		
			塩崎遺跡群	41		
			(小計)	214		
			館蔵品(展示品)	9	完了	当館
科学分析	赤外線観察		堂垣外遺跡出土 「須恵器・土師器」	7	完了	高森町教育委員会
			雨宮坐日吉神社「板絵」	4枚 ×表裏2面	完了	千曲市教育委員会
			塩川・須坂・小山遺跡群 (旧須坂園芸高校内)出土	7	完了	須坂市文化スポーツ課
			井上・幸高遺跡群出土 「墨書土器」	6		
			坂井銘醸蔵「墨書板材」	1枚 ×表裏2面	完了	
	X線透過撮影観察		南大原遺跡出土鉄器	13	完了	長野県埋蔵文化財センター
			ふじ塚遺跡出土青銅器「和鏡」	1		
			潮神明宮前遺跡出土鉄器	1	完了	安曇野市教育委員会
			同上出土鉄器・青銅器癒着 「轡」	1		
			平柴平遺跡出土青銅器	1		
			徳間中島遺跡出土銭貨	2	完了	長野市埋蔵文化財センター
			後町遺跡出土銭貨	30		
	合計			79		
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等問合せへの回答				13件	9区市町村	

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの(最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬)。

※2 真空凍結乾燥法で保存処理したもの。

## 4 文献史料

### (1) 行政文書

#### ① 収集・整理

- ア 行政文書 448 冊
- イ 行政資料 219 冊（長野県の行政刊行物等）
- ウ 県報 122 件（令和 2 年 1 月～令和 2 年 12 月分 製本）

#### ② 公開・非公開判定

- ア 行政文書の公開・非公開判定会議 2 回実施

#### ③ その他

- ア 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

#### ④ 公開

- ア 2,228 冊

### (2) 近現代資料収集・整理・保存

#### ① 収集・整理

G35 大町高等女学校プール建設関係資料など 3 件を収集した。  
また、G0-2 原伊市収集文書、G0-3 後藤新一収集文書など 27 件の目録を公開した。

#### ② 保存

- ア 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄・複製製作（業者委託）  
継続事業 諏訪郡 396 本

### (3) 古文書

#### ① 収集（\* 概数含む） 7,387 点

文 書 名		内 容
寄贈		
村石正行収集文書	45 点	小笠原流故実書、県内諸村文書など
矢代武田家資料	11 点	武田氏肖像画ほか
水内郡竹生村北田家文書	210 点	名主七郎兵衛の時代の「年貢・小物成・諸運上銀皆済帳」や人別帳、そのほか御成敗式目や庭訓往来などの往来物テキスト類
十念寺文書	40 点	十念寺住職在京関係書状など
4 件	計 306 点	

寄託		
埴科郡下戸倉村坂井家文書	6,186点	酒造坂井銘醸関係文書
1件		
購入		
木曾郡三尾村三尾家文書	822点	三尾家関係の近世・近代流出文書
松代藩大野健左衛門組吉太郎家文書		藩主からの鉄砲関係褒賞状
8点		
高井郡牛池村義家家文書	25点	藩主からの鉄砲関係褒賞状
水内郡小佐原村高橋家文書	27点	1650(慶安3)年の古検地帳や上杉領国時代の1581(天正9)年村高書上など
松本藩家中馬印・差物・家紋集		戸田家家中の馬印・旗差物の彩色図
1点		
小諸藩主牧野家系譜下案	1点	牧野康成から康哉までの歴代藩主の事績を編年集成したもので、幕府へ提出したものの下案
女子挺身隊だより	1点	女子挺身隊として派遣された県内女学校生徒が担当傳田精爾氏へ宛てた書状類
松本藩戸田家分限帳	1点	幕末の分限帳
信濃国松本藩家中名前付	3点	幕末の分限帳
下條牛千代あて徳川家康書状	1点	天正12年に比定される妻籠合戦に関する徳川家康書状
役行者御伝記図絵	3点	修験秋葉寺の史料で役行者の伝記をまとめたもの
修験行者伝記	2点	行者伝記の著者は雲外、刊行年は1691(元禄4)年である。役行者の奇瑞などを絵入りで示す
12件	計 895点	

②寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容	
岩村田宿問屋依田家文書	12,541点	所蔵者逝去のため寄託から寄贈へ管理変更
伊藤長七史料	2,312点	一部所蔵者へ返却、寄託から寄贈へ管理変更
2件	計 14,853点	

③ 整理 (\*=継続整理中)

文 書 名	点数 (点)
松本藩家中馬印・差物・家紋集	1
小諸藩主牧野家系譜下案	1
女子挺身隊だより	1
松本藩戸田家分限帳	1
信濃国松本藩家中名前付	3
下條牛千代あて徳川家康書状	1
向山寛夫氏寄贈文書	33
朝倉重吉史料	128
松本市文書館移管文書 (上條信彦氏収集文書)	1, 252
村石正行収集資料	45
小県郡秋和村工藤家文書 (上條信彦氏収集文書)	169
小県郡平井寺村平林家文書 (上條信彦氏収集文書)	87
芦田宿本陣土屋家文書 (J番台)	1, 653
芦田宿本陣土屋家文書 (A番台)	699
芦田宿本陣土屋家文書 (I番台)	1, 707
佐久郡大井法華堂文書	4, 405
佐久郡地方文書 (上條信彦氏収集史料追加分)	17
佐久郡細谷新田村六川家文書 (上條信彦氏収集史料追加分)	107
諏訪郡立川流宮大工藤森家史料 (上條信彦氏収集史料)	175
諏訪郡上原村柿沢家文書	331
伊那郡大草村高坂家文書 (上條信彦氏収集文書追加寄託分)	865
上伊那郡美篤村春日家文書 (上條信彦氏収集文書追加寄託分)	141
伊那郡小川村湯沢家文書 (上條信彦氏収集文書追加寄託分)	191
伊那郡片桐村森下藤左衛門家文書 (上條信彦氏収集文書追加寄託分)	179
伊那郡法全寺村文書 (上條信彦氏収集文書追加寄託分)	100
筑摩郡安曇郡地方文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	425
安曇郡白金村望月家文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	2, 875
筑摩郡塩尻町村文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	290
筑摩郡北小野村古厩家文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	111
筑摩郡北小野村小野家文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	36
安曇郡大町村桜井家文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	584
安曇郡丸田村文書 (上条信彦氏収集文書追加寄託分)	116
木曾郡三尾村三尾家文書	822
木曾郡上松村織田家文書 (上条信彦氏収集文書)	53
更級郡山布施村塩入家文書	1, 139
埴科郡森村中条家文書 (上條信彦氏収集文書)	21
矢代武田家資料	11
松代藩大野健左衛門組吉太郎家文書	8
埴科郡松代新馬喰町文書 (上條信彦氏収集文書)	97
高井郡牛池村義家家文書	25
水内郡竹生村北田家文書	210
上水内郡大塩村萩原家文書 (上條信彦氏収集文書)	66
水内郡小佐原村高橋家文書	27
伊那郡飯島町飯島家文書 (追加分)	296
(継続分)	

石川欣一収集史料	1,621
佐久郡八重原村黒沢家文書	2,001
芦田宿本陣土屋家文書 (I 番台)	800
佐久郡八幡宿依田家文書	3,701
筑摩郡殿村文書	800
伊那郡地方文書 (134点)	254
佐久郡地方文書	9
筑摩郡安曇郡地方文書	75
52件	合計
	28,765

④ 公開 (WEBも含めて)

番号(地区・通番)	文 書 名	点数(点)
0-21-3-8	松本藩家中馬印・差物・家紋集	1
0-21-4-5	小諸藩主牧野家系譜下案	1
0-99-37	女子挺身隊だより	1
0-21-3-7	松本藩戸田家分限帳	1
0-21-3-4~6	信濃国松本藩家中名前付	3
0-99-38	下條牛千代あて徳川家康書状	1
0-3	向山寛夫氏寄贈文書	33
0-4	朝倉重吉史料	128
0-26	石川欣一収集史料	1,621
0-27	松本市文書館移管文書(上條信彦氏収集文書)	1,252
0-28	村石正行収集資料	45
1-19	小県郡秋和村工藤家文書(上條信彦氏収集文書)	169
1-20	小県郡平井寺村平林家文書(上條信彦氏収集文書)	87
2-11	芦田宿本陣土屋家文書(J番台)	1,653
2-11	芦田宿本陣土屋家文書(A番台)	699
2-11	芦田宿本陣土屋家文書(I番台)	1,707
2-33	佐久郡大井法華堂文書	4,405
2-35	佐久郡地方文書(上條信彦氏収集史料追加分)	17
2-36	佐久郡細谷新田村六川家文書(上條信彦氏収集史料追加分)	107
3-17	諏訪郡立川流宮大工藤森家史料(上條信彦氏収集史料)	175
3-31	諏訪郡上原村柿沢家文書	331
4-42	伊那郡大草村高坂家文書(上條信彦氏収集文書追加寄託分)	865
4-44	上伊那郡美篤村春日家文書(上條信彦氏収集文書追加寄託分)	141
4-45	伊那郡小川村湯沢家文書(上條信彦氏収集文書追加寄託分)	191
4-46	伊那郡片桐村森下藤左衛門家文書(上條信彦氏収集文書追加寄託分)	179
4-47	伊那郡法全寺村文書(上條信彦氏収集文書追加寄託分)	100
5-58	筑摩郡安曇郡地方文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	425
5-64	安曇郡白金村望月家文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	2,875
5-70	筑摩郡塩尻町村文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	290
5-71	筑摩郡北小野村古厩家文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	111
5-72	筑摩郡北小野村小野家文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	36
5-73	安曇郡大町村桜井家文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	584
5-74	安曇郡丸田村文書(上条信彦氏収集文書追加寄託分)	116

6-37	木曾郡三尾村三尾家文書	822
6-4	木曾郡上松村織田家文書（上条信彦氏収集文書）	53
7-44	更級郡山布施村塩入家文書	1, 139
7-55	埴科郡森村中条家文書（上条信彦氏収集文書）	21
7-56	矢代武田家資料	11
7-57	松代藩大野健左衛門組吉太郎家文書	8
7-58	埴科郡松代新馬喰町文書（上条信彦氏収集文書）	97
8-21	高井郡牛池村義家家文書	25
9-42	水内郡竹生村北田家文書	210
9-44	上水内郡大塩村萩原家文書（上条信彦氏収集文書）	66
9-45	水内郡小佐原村高橋家文書	27
4-37	伊那郡石曾根村飯島家文書（追加分）	296
45件	合計	21, 125

⑤ 収蔵文書目録20の刊行

文書番号	収録文書名
2-33	佐久郡大井法華堂文書

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	2, 850カット（継続）
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	2, 850カット（継続）

⑦ 資料の修復（業者委託）

「小笠原貞宗画像」
-----------

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸9回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など



8月	市報千曲 8月号 ケーブルネット千曲 8月 八十二文化財団広報紙 八十二文化財団広報紙 なかの情報 NEXT 9月号 博物館研究 9月号 信濃毎日新聞	「地酒王国 信州」関連イベント トークセッション 講演会 歴史館で夏休み 夏季企画展「地酒王国 信州」 秋季企画展「稲作とクニの誕生」-信州と北部信州- 夏季企画展「地酒王国 信州」 「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」数多くの重要文化財を展示 文化講座「信州の城と石垣」飯田市美術館 博物館 (信州学出前講座)	広報誌 広報紙 広報紙 広報紙 広報紙 日博協 冊子 新聞	催し物 地域情報 美術館・博物館ガイド 美術館・博物館ガイド イベント情報 展覧会(歴史)一覧 週間ガイド
9月	ケーブルネット千曲 9月 ケーブルネット千曲 9月 市報千曲 9月号 週刊長野 朝日新聞 なかの情報 NEXT 10月号 週刊うさだ 信濃毎日新聞 朝日新聞 博物館研究 10月号 読売新聞 朝日新聞	夏季企画展 地酒王国 信州より トークセッション 講演会 秋季企画展「稲作とクニの誕生」-信州と北部九州- 秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」 トークセッション「地酒王国-信州酒の地域性、自然、未来-」 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部信州-」 長野県立歴史館秋季企画展「稲作とクニの誕生-信州と北部九州-」 秋季企画展「稲作とクニの誕生 信州と北部信州」 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州-	広報紙 広報紙 広報誌 タブロイド紙 新聞 広報紙 タブロイド紙 新聞 新聞 日博協 冊子 新聞 新聞	番組紹介 地域紹介 催し物 INC 番組情報 有料広告 イベント情報 週間ガイド 有料広告 展覧会(歴史)一覧 美術館・博物館情報 有料広告
10月	市報千曲 10月号 ケーブルネット千曲 10月 八十二文化財団広報紙 読売新聞 博物館研究 11月号 博物館研究 11月号 信濃毎日新聞 読売新聞 毎日新聞 毎日新聞 毎日新聞	考古学講座「稲作と社会の変化〜共同体の発達を考える〜」 令和2年度 秋季企画展「稲作とクニの誕生」-信州と北部信州- 秋季企画展「稲作とクニの誕生」-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- シンポジウム「集落間の連携とクニの誕生」 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部九州- 11月3日無料開放日 知事と館長の対談「歴史館を語る」 シンポジウム「集落間の連携と『クニ』の誕生を考える」	広報誌 広報紙 広報紙 新聞 日博協 冊子 日博協 冊子 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	講座 地域情報 美術館・博物館ガイド 美術館・博物館情報 展覧会(歴史)一覧 展覧会(歴史)一覧 有料広告 美術館・博物館情報 情報ぱれっと 情報ぱれっと 情報ぱれっと
11月	市報千曲 11月号 市報千曲 11月号 ケーブルネット千曲 11月 読売新聞 中日新聞 中日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	阿部守一県知事と笹本正治館長の対談「歴史館を語る」 シンポジウム「集落間の連携と『クニ』の誕生を考える」 阿部守一県知事と笹本正治館長の対談「歴史館を語る」 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 秋季企画展 稲作とクニの誕生-信州と北部信州- 近世史セミナー「古文書を守る」 「今年はおうちで弥生風クリスマスリースをつくろう!」キット配布 戦国時代は何を残したか	広報誌 広報誌 広報紙 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	イベント情報 イベント情報 地域情報 美術館・博物館情報 有料広告 有料広告 有料広告 週間ガイド 週間ガイド 信毎出版部広告



	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	スペイン風邪「今こそ学んで」100年前県内で1万2850人死亡 上伊那 縄文時代中期後葉の「唐草文系土器」寒冷化原因か なくなる装飾	記事 コラム	当館HP内ブログ 春季展開連
5月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞(夕刊) 信濃毎日新聞	内省の学、行動の学として 未来のために足元を知る 新型コロナ 県や県教委施設 休館や休場延長 塩崎遺跡群から出土したつぼ 東海地方から伝わった米作り 奇妙な形と文様の縄文土器 上伊那と諏訪 共通の信仰か カエル模様に祈ったのか 中野・南大原遺跡での鉄器加工 日本海ルートで技術流入か	コラム 記事 コラム コラム 記事 コラム	信州学講座関連 春季展開連 春季展開連 春季展開連 春季展開連 春季展開連
6月	信濃毎日新聞 週刊長野 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞	屋代に田んぼが作られるまで 弥生中期に耕地や水路整備 展示解説 動画で公開 県立歴史館 おうちで楽しんで ホームページ内の「こども歴史館」キャラクターの名前募集 昭和初期か 飯山鉄道沿線案内 現在との違い 探す楽しみ 遺明正使を務めた僧侶 天与清啓 外交面で功績 雪舟とも縁 奇贈品 山城の鳥瞰図 デジタル化 県立歴史館 ネットで公開 国宝の金印 展示中止 県立歴史館の秋季企画展 新型コロナ考慮 県立歴史館と千曲市が協定 企画展や観光振興へ 屋代遺跡群出土の高塚型円面硯 誰か何を書き残したのか 金印やむなく複製展示へ 秋季企画展 十分な感染防止は困難	コラム 記事 記事 コラム コラム 記事 記事 記事 コラム 記事	春季展開連 HPウェブ企画 HP関連 常設展開連 常設展開連 HP関連 秋季企画展開連 常設展開連 秋季企画展開連
7月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 NHK長野放送 FMぜんこうじ FMぜんこうじ 信濃毎日新聞 読売新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞	桑の葉持つ蚕玉神像 子残し逝った母の押絵 信濃国は「地酒王国」 江戸時代 各地に酒屋200軒 「イブニング信州」で夏季企画展「地酒王国信州」紹介 夏季企画展「地酒王国 信州」 夏季企画展「地酒王国 信州」 信州の80酒蔵を紹介 千曲の県立歴史館が企画展 信州の酒造り 展示でたどる 信州の酒造りの歴史 江戸時代から現代まで 11日から企画展 戦時下 酒蔵に逆風 統制や企業整備令で窮地に 海沼房太郎 六工社の機械開発に専心 蚕糸王国のうた紀行82 塩尻・吉田川西遺跡の副葬品 都にゆかり なぜこの地に 江戸時代 各地で特産物 生坂たばこ 人気銘柄に 安曇野市誌編さん 全体構想案を協議 委員会初会合	コラム コラム テレビ放映 ラジオ ラジオ 記事 記事 記事 コラム コラム コラム 記事	常設展開連 夏季企画展開連 夏季企画展開連 夏季企画展開連 7/8~7/17 夏季企画展開連 夏季企画展開連 夏季企画展開連 夏季企画展開連 常設展開連 常設展開連 常設展開連 委員に館長
8月	市報千曲 8月号 MGプレス 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 博物館研究 9月号 信濃毎日新聞 朝日新聞	(千曲市は)長野県立歴史館と連携に関する協定を締結しました 現代に通じる歴史の影 「戦国時代は何を残したか」出版 「品質日本一」信州の清酒 長野県統一銘柄で東京進出 「桔梗ヶ原女子拓務訓練所」「大陸の花嫁」初の養成施設 文人墨客が来訪した酒蔵 文化を学び語り合う場に 信州の地酒を杜氏らが語る 千曲の県立歴史館で催し 巻頭エッセイ 長野県博物館協議会と地域博物館の活性化 武田晴信 山伏をうまく活用 国境に書状運ぶ役目も 金印 レプリカ展示も断念 九州の資料まパネル紹介	広報誌 記事 コラム コラム コラム 記事 日博協冊子 コラム 記事	連携協定 夏季企画展開連 常設展開連 夏季企画展開連 夏季企画展開連 県博協関連 館蔵品関連 秋季企画展開連
9月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞	無政府主義者・大杉栄の肖像画 美術へ初の思想弾圧 企画展 北部九州関連 資料展示見送り 集荷で観戦懸念が初に変更 戦国時代は何を残したか 民衆にスポット当て戦国時代観変更迫る 信州の弥生遺跡を見つめ直す 稲作の進展と社会変化 考察	コラム 記事 記事 コラム	秋季企画展開連 新刊紹介 秋季企画展開連

	週刊長野 FM ぜんこうじ FM ぜんこうじ 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	「稲作とクニの誕生」展 特徴的な遺跡紹介 秋季企画展 稲作とクニの誕生—信州と北部信州— 秋季企画展 稲作とクニの誕生—信州と北部信州— 稲作文化にみる弥生時代の社会 県立歴史館企画展 大陸伝来 弥生時代の石甕丁 各集落で制作うかがえる 鉄製品や加工技術の到来 北陸から千曲川流域に? 自然を従わせる「科学万能主義」への転換点 戦国知れば見える現代 弥生時代に伝わった養蚕や機織り 日本を代表する伝統産業に	記事 ラジオ ジイボットCM 新聞 コラム コラム 記事 コラム	秋季企画展関連 秋季企画展関連 9/12~9/21 秋季企画展関連 秋季企画展関連 新著関連 秋季企画展関連
10月	信濃毎日新聞 市報千曲 10月号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	県公文書 管理体制強化へ 県立歴史館 専門職導入含め検討 県立歴史館へ本紙持参で千曲市民2名様を無料ご招待 塩尻・上木戸遺跡出土の台付鉢 「焼町式」の文様を継承 栗林式土器文化圏示す石斧 分配原理 互酬か再分配か 古代道路の多層積み構造 舗装道路に通じる発想 「塔碗形合子」に唐草文様 渡来系の職人製作か 象山 にじむ学問への姿勢 購入の古文書 直筆の可能性ある書状発見 県公文書 細る歴史館移管 歴史館の態勢強化 課題 大陸文化の玄関口 九州北部・信州の弥生文化と比較 必要	記事 記事 コラム コラム コラム 記事 記事 記事 コラム	千曲市連携協定 常設展関連 考古学講座関連 当館で保存処理 秋季企画展関連
11月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	弥生時代 石製装身具の「管玉」 「匠の技」で細長い穴を貫通 県立歴史館 今後の役割は? 館長と知事が対談 弥生時代の環濠集落 都市機能持つムラへ発展 江戸で信州で ひな市にぎわい 松本博覧 人気だった贈答品 満蒙開拓の記憶 収集に力 来年度企画展で活用へ 資料と情報の提供呼びかけ 信州に南北二つの弥生文化 水稲基幹の北部 畑作の南部	コラム 記事 コラム コラム 記事 コラム	秋季企画展関連 秋季企画展関連 信州学講座関連 史資料収集 秋季企画展関連
12月	信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞	江戸時代 上層農民の記録 多くの本 遠方からも入手 文化的ニーズ 活路はある (印章の歴史) 明治初期 離れた県ともやりとり 筑摩県 印鑑簿に残る足跡 趣異なる江戸期の信玄画像 憤怒の表情 神格化の意図 秀吉と対立 家康の緊張感 木曾で戦う伊那の領主充て 書状見つかる 策士・家康 10歳領主に下手 長野で書状公開 豊臣に対抗 戦略にじむ 回顧この1年 感染防止に苦心秋季企画展、県外流出の徳川家康書状購入 高い就学率・先進的な取り組み 「教育県」源流は江戸後期に 「激動の戦国」家康の書状 1584年、10歳の領主充てに 平安期から吉事を祈る書き初め 良い年に 真田信之も記す	コラム 記事 コラム コラム 記事 記事 記事 コラム 記事 コラム	常設展関連 常設展関連 常設展関連 特別公開関連 特別公開関連 信州学講座関連 特別公開関連
1月	毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 週刊長野 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 長野日報 屋代有線放送	浅間山の鬼伝説 大噴火は鬼の仕業 「あの世と結ぶ」神聖視 正岡子規に気に入られた中村不折 新聞挿絵の第一人者に 中村不折の書 心和ませるデザイン文字 洋画家・書家中村不折を紹介 貴重な書道資料も 中村不折のコレクションから 漢字の歴史 体系的にたどる 画面越し見学 南箕輪小6年生 縄文土器から昭和の家電まで 長寿県への取り組み 保健師や地域医療が土台に 明治の画人・中村不折—その知られざる仕事 ①見字の新聞挿絵 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ」見所解説①	記事 コラム コラム 記事 コラム 記事 コラム コラム 有線放送	甲州 百鬼紀行4 冬季展関連 冬季展関連 冬季展関連 冬季展関連 KOAの日関連 信州学講座関連 冬季展関連 冬季展関連
2月	信濃毎日新聞	歴史画家・中村不折の油彩画 東洋の画題 西洋の技術融合	コラム	冬季展関連

	長野日報 屋代有線放送 屋代有線放送 屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	明治の画人・中村不折—その知られざる仕事 ②パリの芸術の都で 人体表現を学ぶ 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ」見所解説② 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ」見所解説① 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ」見所解説② 洋画家・中村不折の日本画と書 技術、構成力、幅広い知識 「中野騒動」から長野県成立まで 政府と疎通 立木兼善の半断 戦後含む「新たな県史を」 信濃史学会県などへの要望検討	コラム 有線放送 有線放送 有線放送 コラム コラム 記事	冬季展開連 冬季展開連 冬季展開連 冬季展開連 冬季展開連 常設展開連 冬季展開連
3月	屋代有線放送 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 毎日新聞 ながの情報 NEXT 4月号 週刊長野 信濃毎日新聞	冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折 —伊那谷から世界へ」見所解説② 東北・越後系の色濃い「栃倉式」 新たな土器文化の原動力に 土佐派作風の特徴「源氏物語図屏風」 左右が対の構図興味深く 学芸員「イチ押し」の絵画・工芸 千曲の県立歴史館で所蔵品展 県立歴史館 至宝を紹介 県立歴史館の収蔵庫は漆器杯でピンチ 県立歴史館所蔵品展「至宝の名品—学芸員のイチ押し 絵画工芸編—」 学芸員のイチ押し 県立歴史館「至宝の名品」展 絵画工芸の名品32点紹介 保科正光の情報分析力 関ヶ原合戦 情勢見抜く	有線放送 コラム コラム 記事 記事 記事 記事 記事 コラム	冬季展開連 常設展開連 企画展開連 企画展開連 企画展開連 企画展開連 企画展開連 企画展開連 館蔵品関連

# 一 資料

## I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)
貸出	8	8	12
掲載	38	11	64
複製(資料・写真)	1	0	7

全件数  
28件  
113件  
8件

(2021年3月31日現在)

## II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレ ンス件数	HPアク セス数	資料 受入数	図書 登録数
			図誌	歴史情 報	映像情 報	行政文 書	古文書	考古資 料	その他						
4	213	8	168	7	0	11	20	3	4	66	132	11	7,265	372	103
5	283	10	247	10	0	7	9	5	5	75	44	5	7,360	125	28
6	281	11	249	5	0	7	13	1	6	90	146	9	6,700	139	284
7	306	12	269	2	0	13	10	8	4	100	71	3	8,153	236	68
8	707	25	610	10	0	27	28	9	23	86	1,630	4	8,766	118	58
9	416	17	361	7	0	3	23	8	14	91	331	7	10,833	123	74
10	331	17	285	6	0	4	9	18	9	32	79	7	14,521	25	36
11	220	13	186	1	0	10	10	1	12	30	187	3	13,007	158	113
12	297	12	261	2	0	4	11	15	4	62	164	6	7,577	90	97
1	343	14	303	4	0	5	25	2	4	68	149	11	8,740	123	32
2	385	18	351	0	0	14	9	0	11	64	127	2	6,831	75	178
3	244	9	207	0	0	11	9	0	17	92	65	5	8,126	254	73
計	4,026	14	3,497	54	0	116	176	70	113	856	3,125	73	107,879	1,144	1,838

## III 利用者

令和2年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		利用者計
	観覧者数	日数	観覧者数	日数	受講者等数	日数	観覧者数	日数	受講者数	日数	
4	337	12	280	12	0	0	96	12	0	0	713
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6	693	25	362	12	0	0	195	25	12	1	1,262
7	1,554	27	1,163	18	65	2	237	27	145	4	3,164
8	2,416	27	1,483	21	337	7	306	27	103	4	4,645
9	2,683	26	1,378	14	59	2	210	26	105	4	4,435
10	5,261	27	5,041	27	182	4	219	27	329	10	11,032
11	3,284	24	3,100	24	263	6	237	24	246	9	7,130
12	1,036	24	0	0	91	3	187	24	132	3	1,446
1	1,074	24	870	20	144	5	283	24	62	1	2,433
2	1,994	20	1,562	17	184	5	290	20	64	2	4,094
3	1,431	26	888	16	841	2	263	26	0	0	3,423
計	21,764	262	16,127	181	2,166	36	2,523	262	1,198	38	43,778

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
合計	1,288,065	839,255	340,835	210,910	2,679,065

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数 夏企=企画展 春季=季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3~12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃 -江戸時代の村や町-	7/15~8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21~11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生 -北村遺跡に生きた人々-	7/20~8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃 -掘り出された地方行政とくらし-	10/5~11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会-明治期における長野県の世界の交流-	7/19~8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化 -シルクの歴史と文化-	10/12~11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31~3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5~6/20 14日	-
夏企	古代シナノの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18~8/23 32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17~11/23 33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4~5/9 33日	9,866
夏企	信濃名宝展 -鎌倉時代の文化財-	10/17~11/23 33日	7,458

秋企	蘭学万華鏡 -江戸時代 信濃の科学技術-	7/16~8/22	38日	7,321
考古資料特別公開	躍動する縄文土器-新指定重要文化財現代田町川原田遺跡出土品とその周辺-	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 -ともに生きた人びとの記録-	10/9~11/14	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫 秋葉みち -信濃古道をたどる-	7/22~8/27	32日	7,807
長野県の20世紀展	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 展覧会	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう -19世紀北信濃の文芸ネットワーク-	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 -仮面土偶をつくった人びと-	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 -信山育材-	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 -信濃二十六宿と間宿-	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 -田中平八コレクションと北信濃の雛人形-	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん -秘仏の寺ものがたり-	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさとの文化財をすくえ-伝えたい古人の心と技-	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ原爆展-風化させてはならない歴史-	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 -唱歌・童謡のふるさと信州-	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 -石器時代の槍と斧-	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 -子どもの祝い-	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り -古代のまつり-	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 -街道を行き来した人・物・文化-	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 -義仲から幸村まで-	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平 -横浜を目指した信州の生糸商人たち-	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 -GHQ接収刀の輝き-	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの縄文伝説-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた-	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木幢 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 -身だしなみとよそおい-	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代-神建鉢・米山-教育館資料を中心に-	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 -時代を駆けた草莽たち-	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち -信州の一五年戦争-	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ -新指定長野県宝と歴史館のお宝-	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見-長野県歴史文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 -わたしの城下町-	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島 -新発見考古速報展-	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 -雛人形と郷土の人形-	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る -縄文から近世まで-	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝-	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰-流転と遍歴の動化-	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 -歴史を記録した先人たち-	8/1~9/6	32日	4,248
秋企	山を越え川に沿う -信州弥生文化の確立-	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲ-諏訪地域の“いのり”と“まつり”-	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への祈り	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想い-日本人はどのように埋葬されてきたか-	7/31~8/29	26日	2,552

秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳ -文字のちから-	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春季	武士の家宝 -かたりつかれた御家の由緒-	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬく-信濃武士市河氏の400年-	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方-浮世絵版画から観光パンフレットまで-	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴ-郷土のお宝『重文・県宝』を見よう-	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民-三つの大日向をたどる-	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展	9/15~11/4	44日	6,871
	” 後期展	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品-姫君様の婚礼道具から雛人形まで-	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29~8/18	45日	4,608
	-大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球-			
秋企	刃が語る信濃	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害-戊の満水と善光寺地震-	11/23~1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州	2/1~3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014-長野県埋蔵文化財センター速報展-	3/21~6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美	6/14~7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きる-「信州山の日」制定を記念して-	7/26~8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19~8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断	9/27~11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展	11/29~2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆく	(4/1)~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945	7/25~9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史	10/9~11/29	49日	6,570
冬企	地区の明治維新	12/9~2/28	58日	2,838
巡回展	長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝	9/17~11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町	12/17~2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~ (3/31) 12日		973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生	7/8~8/28	46日	3,089
秋企	進化する縄文土器	9/16~11/26	61日	7,727
冬季	博物館の父は信州人	12/16~2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~ (3/31) 12日		606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1~6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか!	6/16~7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石	9/15~11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行雄	12/15~2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019	3/16~ (3/31) 13日		858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1~6/23	73日	12,117
夏季	長野県立歴史館の名品	7/6~8/18	39日	3,840
秋企	戦国 小笠原三代	9/7~10/14	33日	5,049
特別企画	土偶展 国宝土偶	10/26~11/10	16日	15,041
特別企画	土偶展 中部高地の土偶	11/23~2/2	57日	4,127

春期展	長野県の考古学2020	3/25～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 -信州と北部九州-	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折 -伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所藏品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	3/13～(3/31) 16日	888

ミニ展示 「県歌 50年」 作詞家「浅井冽の書を見る」 965人 26日

ミニ展示 信州の「野球史 夏」 996人 32日

ミニ展示 「平成とともに歩んだ歴史館」 (ポスター展) 1,121人 50日

ミニ展示 「掘るしん 2021」 (長野県埋蔵文化財センター速報展) 774人 6日 (3/13～5/9のうち3/31までの実績)

#### IV 収蔵史資料数

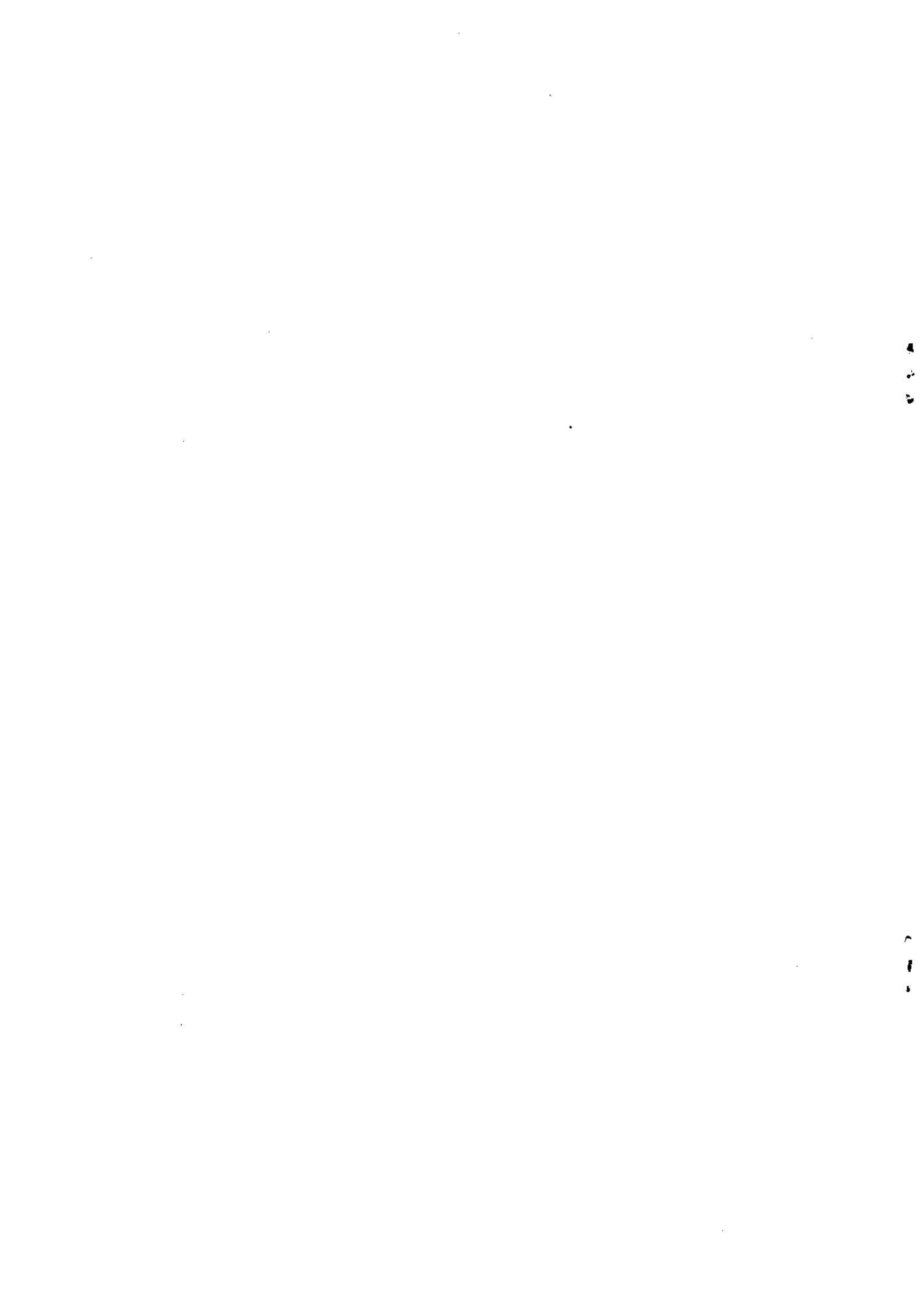
区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書 (冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	
7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品がある。令和2年度時点で保存処理済(PEG処理)の点数は、32,500点があり、当館第2収蔵庫で収納している。

平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

# 一日誌

- 4月 15日(水) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館(～5月6日)  
 5月 8日(金) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館延長(～5月31日)  
 6月 14日(日) 春季展「長野県の考古学」-いのちをつなぐ技と交流-終了  
 23日(火) 千曲市との連携協定調印式  
 7月 10日(金) 夏季企画展「地酒王国 信州」オープニングセレモニー  
 6日(土) 夏季企画展「地酒王国 信州」開始  
 8月 2日(土) 歴史館で夏休み  
 5日(水) 「こども歴史館」(仮)検討委員会①  
 8日(土) 夏季企画展「地酒王国 信州」トークセッション  
 20日(木) 博物館実習前期開始(～25日)  
 22日(土) 夏季企画展「地酒王国 信州」講演会  
 23日(日) 夏季企画展「地酒王国 信州」終了  
 26日(水) 博物館実習後期開始(～30日)  
 29日(土) 信州学講座 in 飯田  
 9月 3日(木) 長野県議会環境文教委員会現地調査  
 10日(金) 決算特別委員会現地調査  
 15日(火) 秋季企画展「稲作とクニの誕生」オープニングセレモニー 企画展開始  
 17日(木) 博物館協議会研修(浅間縄文ミュージアム他)  
 10月 24日(土) 信州学講座 in 大桑  
 27日(火) 新潟県立歴史博物館との連携協定調印式  
 29日(木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会①(長野市公文書館)  
 31日(土) 考古学講座  
 11月 7日(土) 知事・館長対談  
 8日(日) 信州大学 教員免許状更新講習会  
 29日(日) 弥生風クリスマスリースを作ろう  
 21日(土) 信州学講座 in 箕輪、南信州民俗芸能活性化イベント in 長野  
 22日(日) 秋季企画展「稲作とクニの誕生」シンポジウム  
 29日(日) 秋季企画展「稲作とクニの誕生」終了  
 12月 2日(水) 「こども歴史館」(仮)検討委員会②  
 5日(土) 近世史セミナー  
 20日(日) 「グーライトの日」(企業等協賛の日) 新収蔵資料特別公開(～12月27日)  
 18日(水) 考古資料保存処理講習会  
 1月 8日(金) 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折」オープニングセレモニー  
 9日(土) 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折」開始  
 16日(土) 信州学講座①  
 19日(火) KOAの日(企業等協賛の日) リモート授業実施(南箕輪小学校)  
 23日(土) KOAの日(企業等協賛の日)  
 28日(木) 29日(金) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会②  
 30日(土) 考古学講座  
 2月 6日(土) 冬季企画展関連講座  
 10日(水) 信州大学博物館経営論講座  
 18日(木) 博物館関係職員研修会  
 18日(木) 「こども歴史館」(仮)検討委員会③  
 20日(土) 信州学講座②  
 21日(日) 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折」終了  
 28日(日) 古文書愛好会総会・講演会  
 3月 6日(土) 信州学講座③  
 12日(金) 所蔵品展「至宝の名品」オープニングセレモニー  
 13日(土) 所蔵品展「至宝の名品」開始



**長野県立歴史館年報 第23号**  
**2020年度（令和2年度）**

---

2021(令和3)年 5月30日発行

編集・発行 長野県立歴史館  
〒387-0007 千曲市屋代260-6  
TEL 026-274-2000 (代表)  
FAX 026-274-3996

---

•  
•  
•

•  
•  
•